

# とくしまユニバーサルデザイン 推進マニュアル

資料編



徳島県

# 目次

## 1 移動空間

1	道路	1
2	排水施設	3
3	植樹帯	3
4	防護柵	4
5	屋外照明	4
6	駐車場・駐輪場	5
7	アプローチ・敷地内(公園内)通路	7
8	玄関・出入口	9
9	廊下	11
10	階段	12
11	エレベーター・エスカレーター	14
12	スロープ	16
13	手すり	17

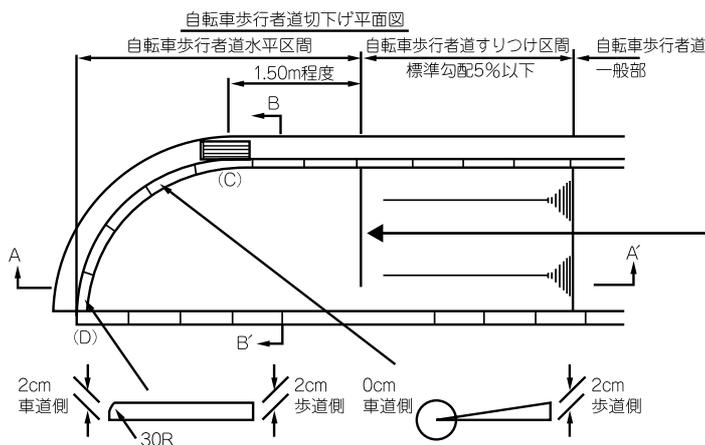
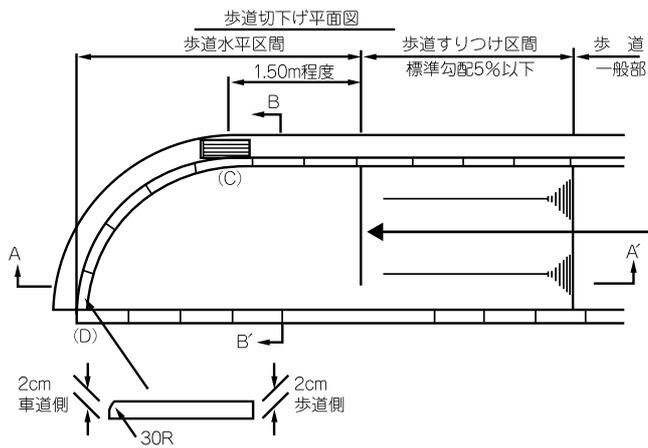
## 2 利用空間

1	トイレ・洗面所	18
2	みんなのトイレ	18
3	更衣室・シャワー室	20
4	浴室	21
5	宿泊施設の客室等	22
6	観覧席・客席	23
7	受付カウンター・水飲み場・公衆電話	24
8	授乳室等	25
9	操作ボタン・スイッチ等	26
10	公園	27
11	プラットホーム・バスターミナル・バス停留所・タクシー乗降場・乗船場	29
12	改札口・通路・階段	31

## 3 情報環境づくり

1	視覚情報サイン	33
2	触覚情報サイン	35
3	非常時の情報設備	38

申請窓口	39
------	----



【歩道など】(セミフラット・マウントアップ型)

有効幅員

- ・ 歩行者交通量が多い道路  
歩道  $W=3.5\text{m}$  以上  
自転車歩行者道  $W=4.0\text{m}$  以上
- ・ その他道路  
歩道  $=2.0\text{m}$  以上  
自転車歩行者道  $W=3.0\text{m}$  以上

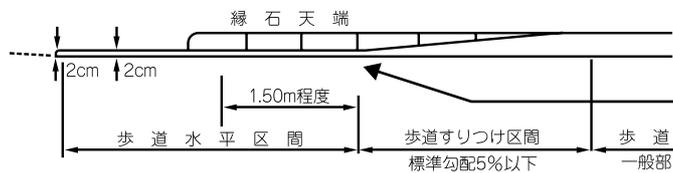
横断勾配(歩道など)

- ・ 2.0%以下  
(透水性舗装の場合は1.0%以下)

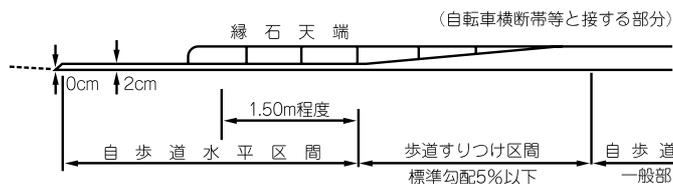
歩車道境界部の段差

- ・ 車道側 2 cm 歩道側 2 cm (歩道)
- ・ 車道側 0 cm 歩道側 2 cm (自転車歩行者道の自転車横断帯等と接する部分)
- ・ 車いす使用者、視覚障害者、高齢者等、行動特性を歩車道境界部の段差に対する評価を十分把握したうえで、さらに望ましい構造について検討するのが望ましい

A-A'断面 (歩道)



A-A'断面 (自転車歩行者道)



【歩道のすりつけ】

縦断・すりつけ勾配

- ・ 縦断勾配5.0%以下(やむを得ない場合でも縦断勾配8.0%以下)
- ・ 横断歩道接続部では、1.5m程度の水平区間を設ける

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。  
 ※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

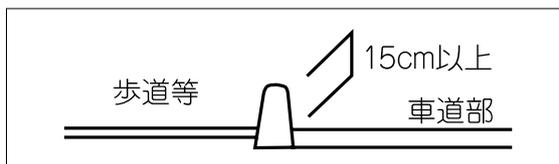
関係法令・資料等

- ・ 道路構造令の解説と運用
- ・ 土木設計マニュアル[道路編]
- ・ 移動円滑化ガイドライン

## 【歩道及び自転車歩行者道の形状】

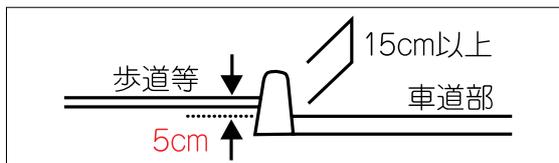
### ●フラット型

(縁石高15cm以上)



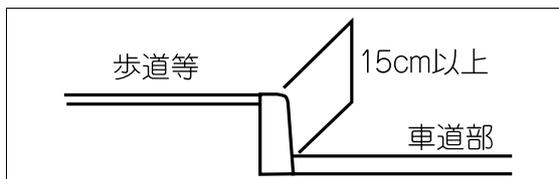
### ●セミフラット型

(歩道高5cm、縁石高15cm以上)

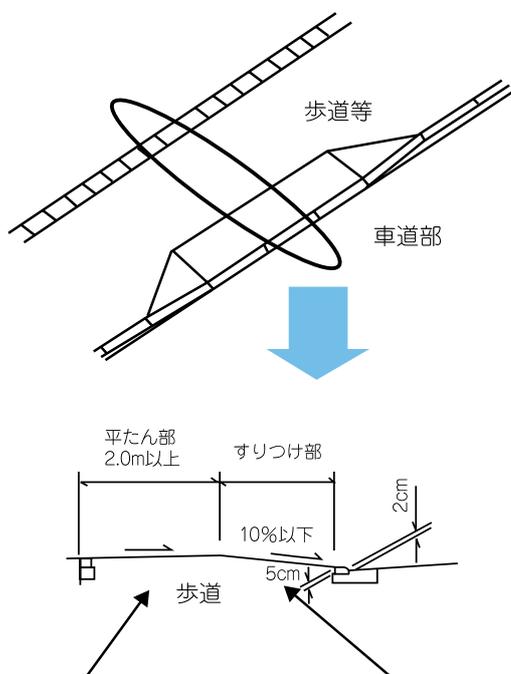


### ●マウントアップ型

(歩道高15cm以上、縁石高15cm以上)



(バス停留所部分等)



平たん部W=2.0m以上  
(少なくとも1.0m以上)

すりつけ勾配=10%以下

## 【車両乗入れ部の構造】

(マウントアップ型の場合)

### 歩車道境界部の段差

- ・車道側 2 cm 歩道側 5 cm
- ・車いす使用者・視覚障害者・高齢者等の行動特性と歩車道境界部の段差に対する評価を十分把握したうえで、さらに望ましい構造について検討するのが望ましい

### 車両乗入部

- ・勾配10%以下  
(やむを得ない場合でも15%以下)
- ・平たん部 W=2.0m 以上  
(少なくとも1.0m 以上)

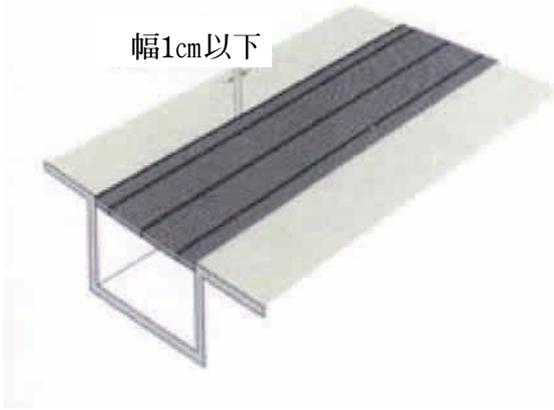
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。

※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

関係法令・資料等

- ・道路構造令の解説と運用
- ・移動円滑化ガイドライン

「道路の移動円滑化整備ガイドライン」 大成出版社  
(編集・発行/財団法人国土技術研究センター、初版:2003. 5. 30)



### 【側溝・集水柵蓋】

#### 形状・寸法

- ・ JIS 規格に準じる

#### 材料

- ・ 十分な強度を有し、歩行性、耐久性、耐摩耗性に優れたものとする

#### グレーチング蓋

- ・ 平たんかつ滑りにくい仕上げとする
- ・ 車いすのキャスターやヒール、杖等が落ち込まない目の細かいものとする
- ・ 柵蓋は清掃等を考慮し、 $W=50\text{kg}$ /枚程度とする

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。

※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

関係法令・資料等

・ 土木設計マニュアル

[道路編]

・ 移動円滑化ガイドライン

「道路の移動円滑化整備ガイドライン」 大成出版社

(編集・発行/財団法人国土技術研究センター、初版：2003. 5. 30)

## 3 植樹帯

### 植樹帯幅員

- ・ 歩道部、分離帯等

$W=1.5\text{m}$  以上

分離帯等にて花壇等を設置する場合は、この幅員以下でも可

### 材料

- ・ 樹木

道路空間規模、地域特性、気候、気象条件、歩行者への影響等を留意したもの

- ・ 草花

樹木に準じるが、観賞期間等を考慮したもの

### 植栽間隔

- ・ 標準値(樹高 $5.0\text{m}\sim 10.0\text{m}$ )

$W=7.0\text{m}\sim 8.0\text{m}$

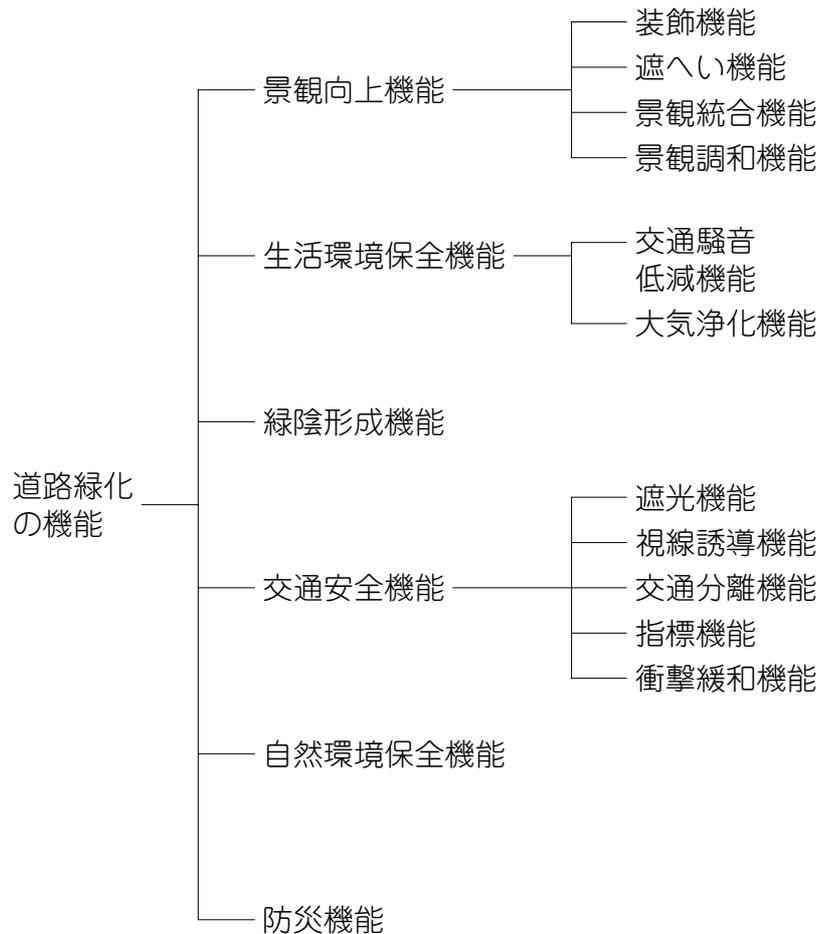
- ・ 小型樹種(樹冠幅 $3.0\text{m}$ 程度)

$W=5.0\text{m}\sim 6.0\text{m}$

- ・ 特大木(枝張り $20\text{m}$ 以上)

$W=10.0\text{m}$  以上

### 道路緑化の機能



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。

※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

関係法令・資料等

・ 土木設計マニュアル[道路編]

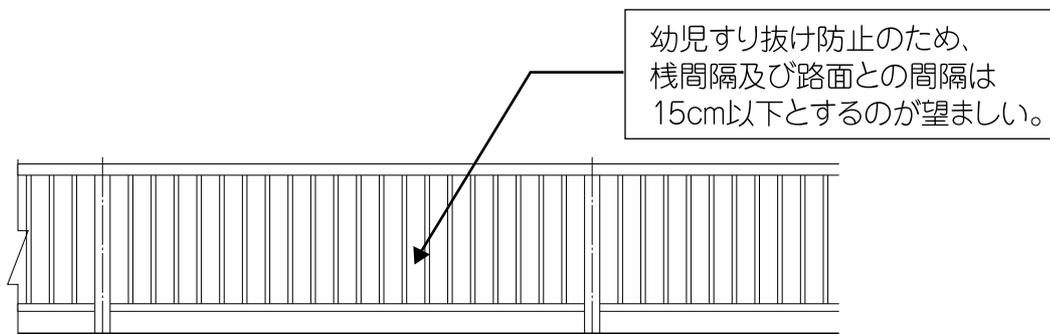
・ 道路緑化技術基準・同解説

### 設置区間・種別

- ・防護柵設置基準に適合した形で設置

### その他

- ・転落防止を目的とした歩行者自転車柵は、よじ登り防止のため縦柵構造とするのが望ましい



※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

関係法令・資料等

- ・土木設計マニュアル[道路編]
- ・防護柵設置基準

## 5 屋外照明

### 歩道の照明

均斉度:0.2以上

均斉度:(当該歩道路面上の水平面照度の最小値を平均値で除した値)

### 立体横断施設等の照明

- ・横断歩道橋 照度:20lx
- ・地下横断歩道 照度:出入口100lx以上  
(入口から出口が見通せないものに限り)  
階段及び通路50lx以上

### その他施設の照明

JISZ9110照度基準を参考に、適切な明るさとする

### 灯具の選定

照明器具の輝度が高いと歩行者は不快グレアを生じると同時に、場合によっては視機能の一時的低下を招くため、照明器具の輝度は6,000cd/m<sup>2</sup>を超えてはならない

夜間の歩行者交通量	地域	照度 (lx)	
		水平面照度	鉛直面照度
交通量の多い道路	住宅地域	5	1
	商業地域	20	4
交通量の少ない道路	住宅地域	3	0.5
	商業地域	10	2

・鉛直面照度は、歩道の中心線上で路面上から1.5mの高さの道路軸に対して直角な鉛直面上の最小照度

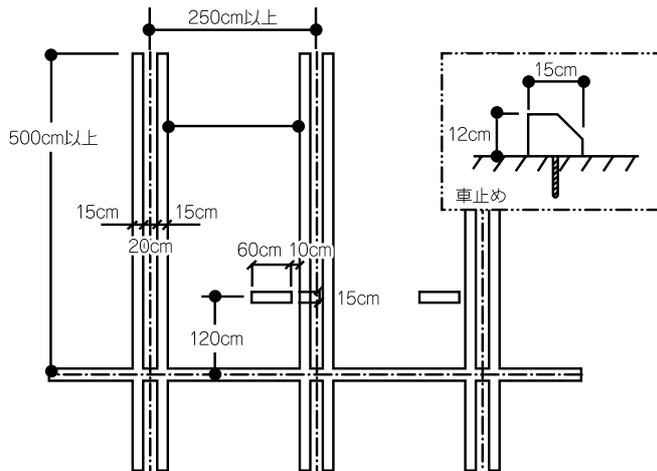
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。  
 ※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

関係法令・資料等

- ・移動円滑化ガイドライン

## 6 駐車場・駐輪場

### ●一般駐車スペース



#### 歩行者専用出入口

- ・有効80cm以上

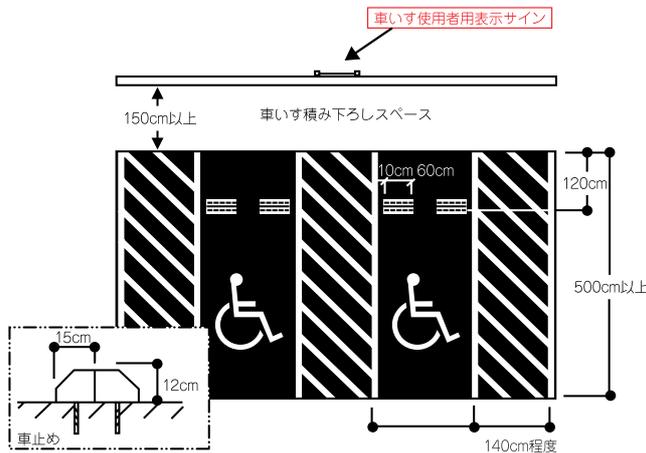
#### 車路の幅員

- ・すれ違いの車路:550cm以上
- ・一方通行の車路:350cm以上

#### 建築物である駐車場の照度

- ・車路床面:10ルクス以上

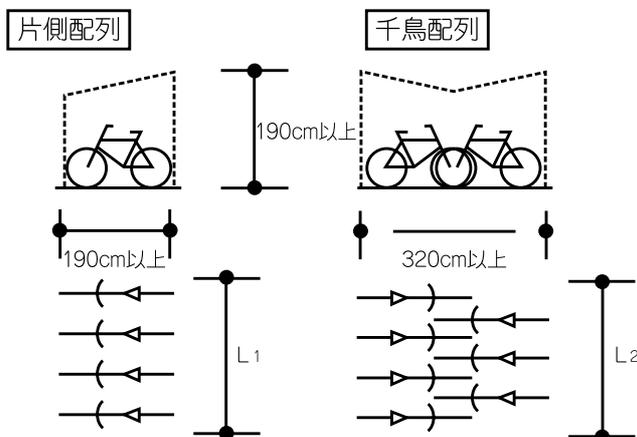
### ●車いす使用車用駐車スペース



#### 駐車スペースの数量

全駐車台数	車いす使用者用 駐車区画
1～50	1
51～100	2
101～150	3
151～200	4
201～	全駐車台数× 1%+2

### ●駐輪スペース



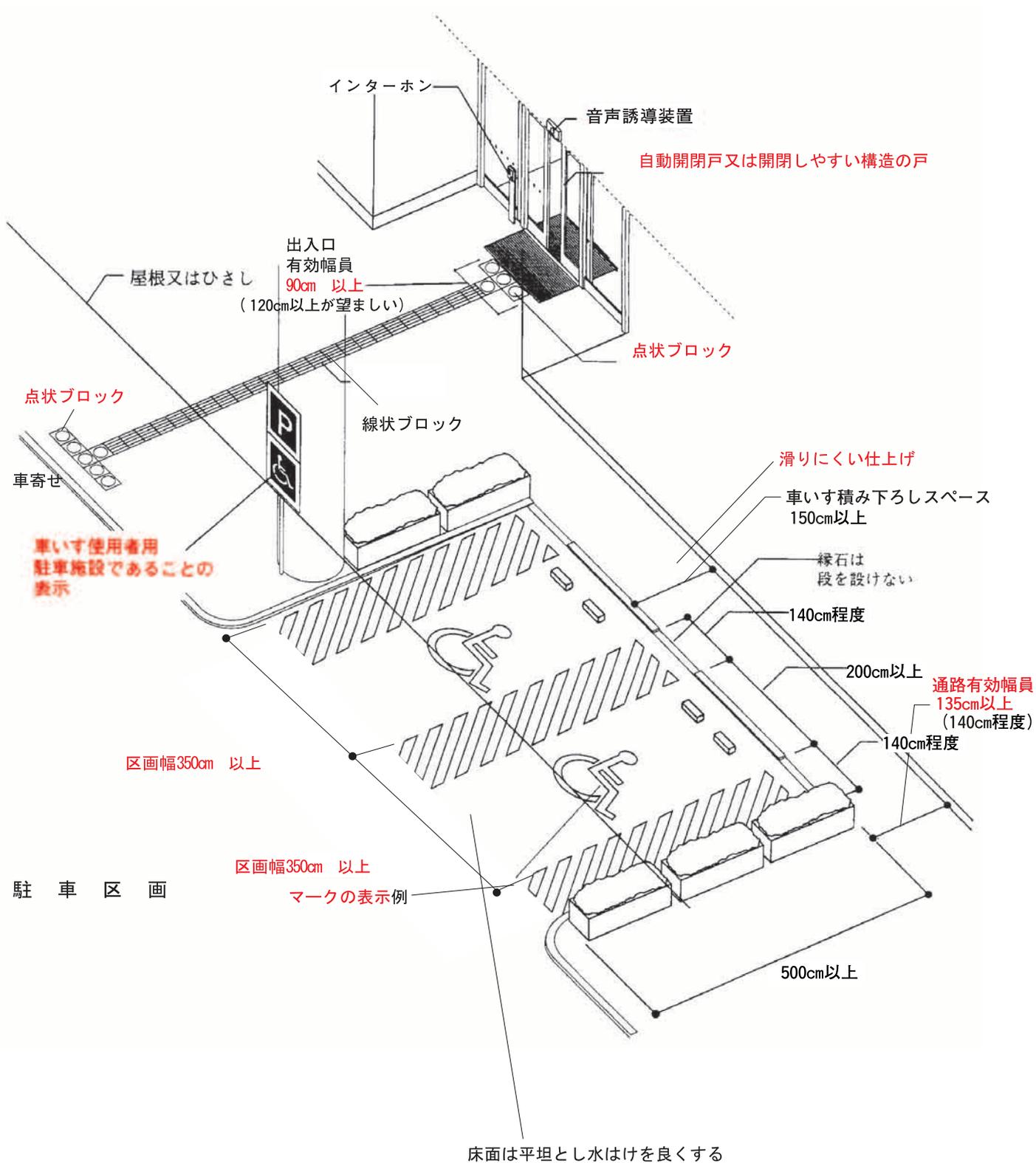
#### 幅員

- ・片側配列:L 1 = 60cm × 台数
- ・千鳥配列:L 2 = 30cm × 台数

#### 屋根の高さ

- ・190cm以上

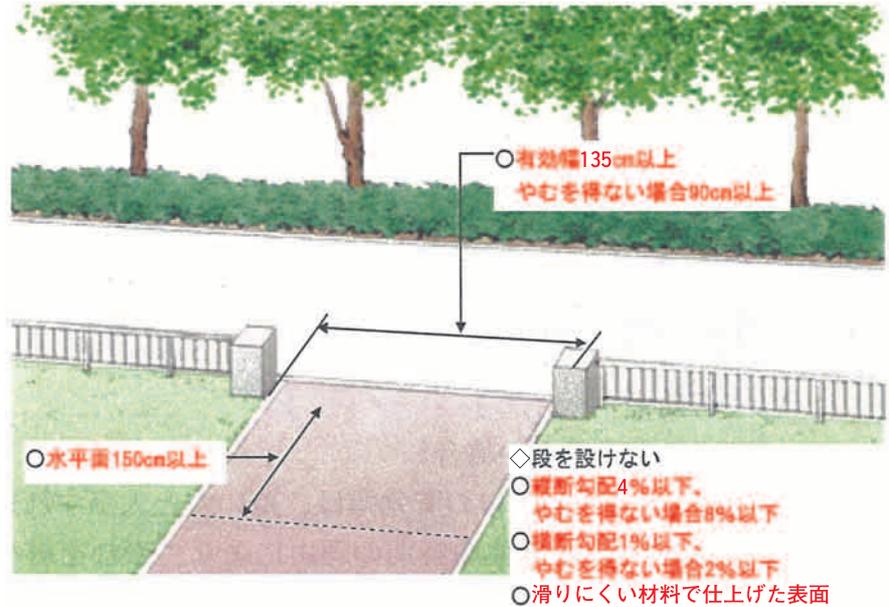
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。



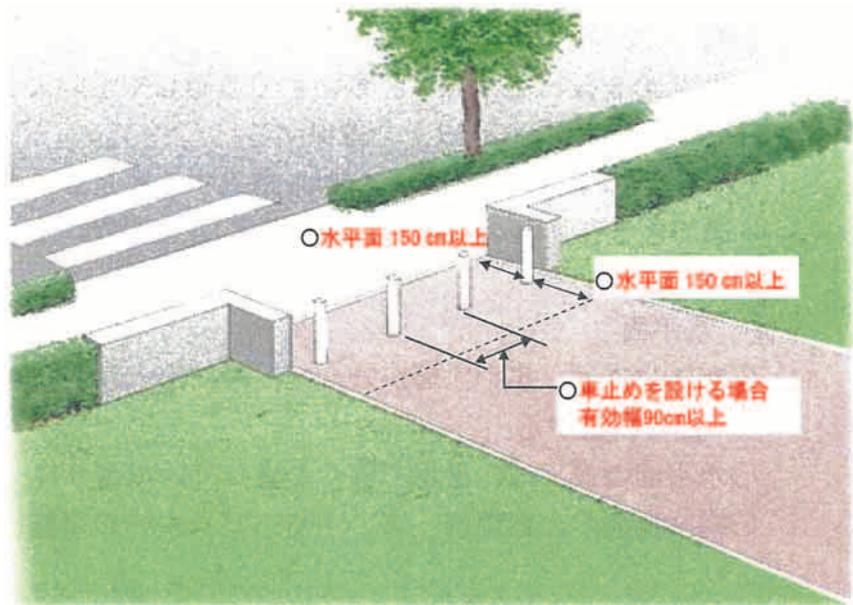
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

[出入口]

● 車止めを設けない場合



● 車止めを設ける場合



【園路】

縦断勾配

- ・ 4%以下(やむを得ない場合 8%以下)

横断勾配

- ・ 1%以下(やむを得ない場合 2%以下)

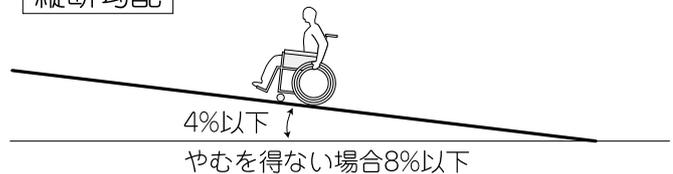
幅員

- ・ 180cm以上

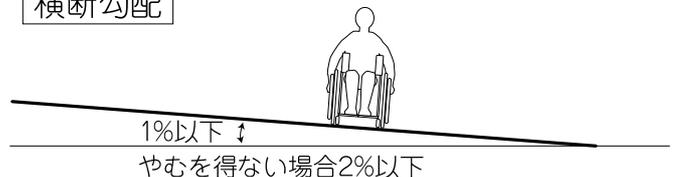
車いす転回スペース

- ・ 通路の幅員が180cm以上確保できない場合は、少なくとも120cm以上とし、50m以内ごとに縦、横それぞれ150cm以上の空間を確保する

縦断勾配

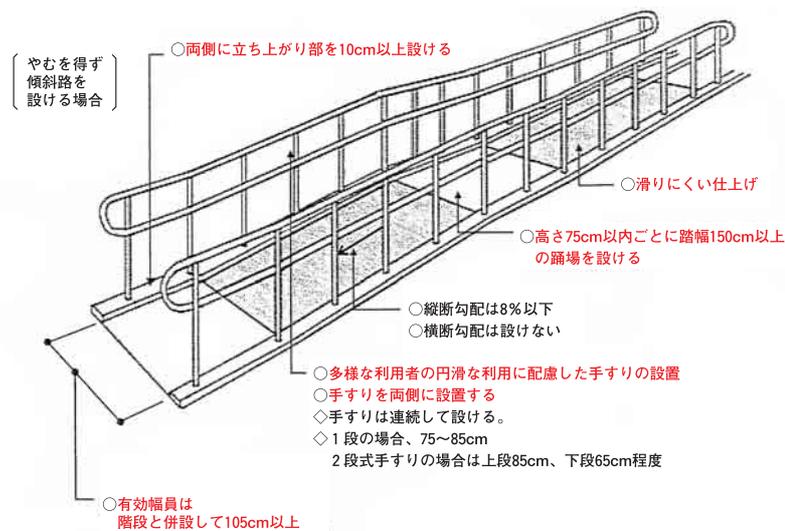
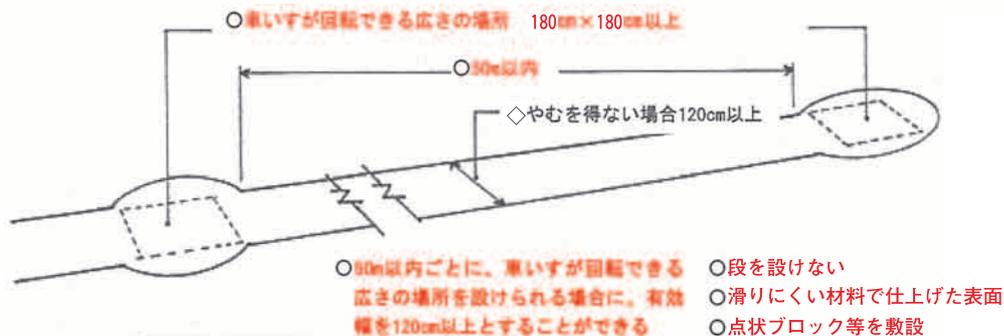
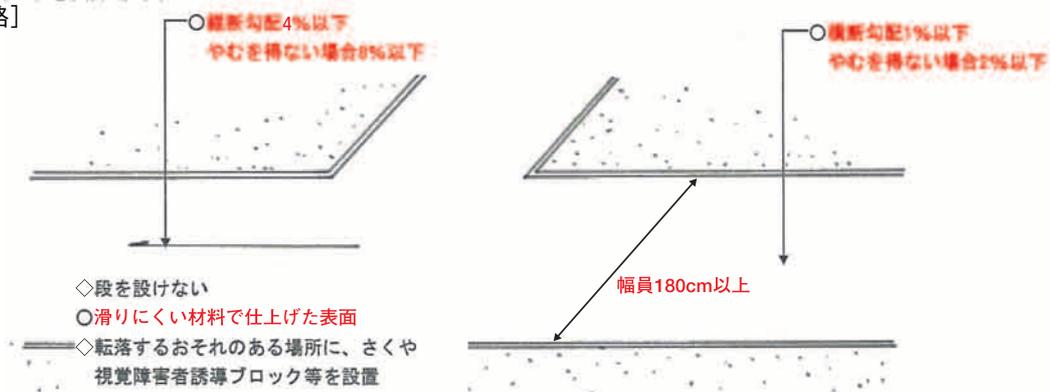


横断勾配



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

[園路]

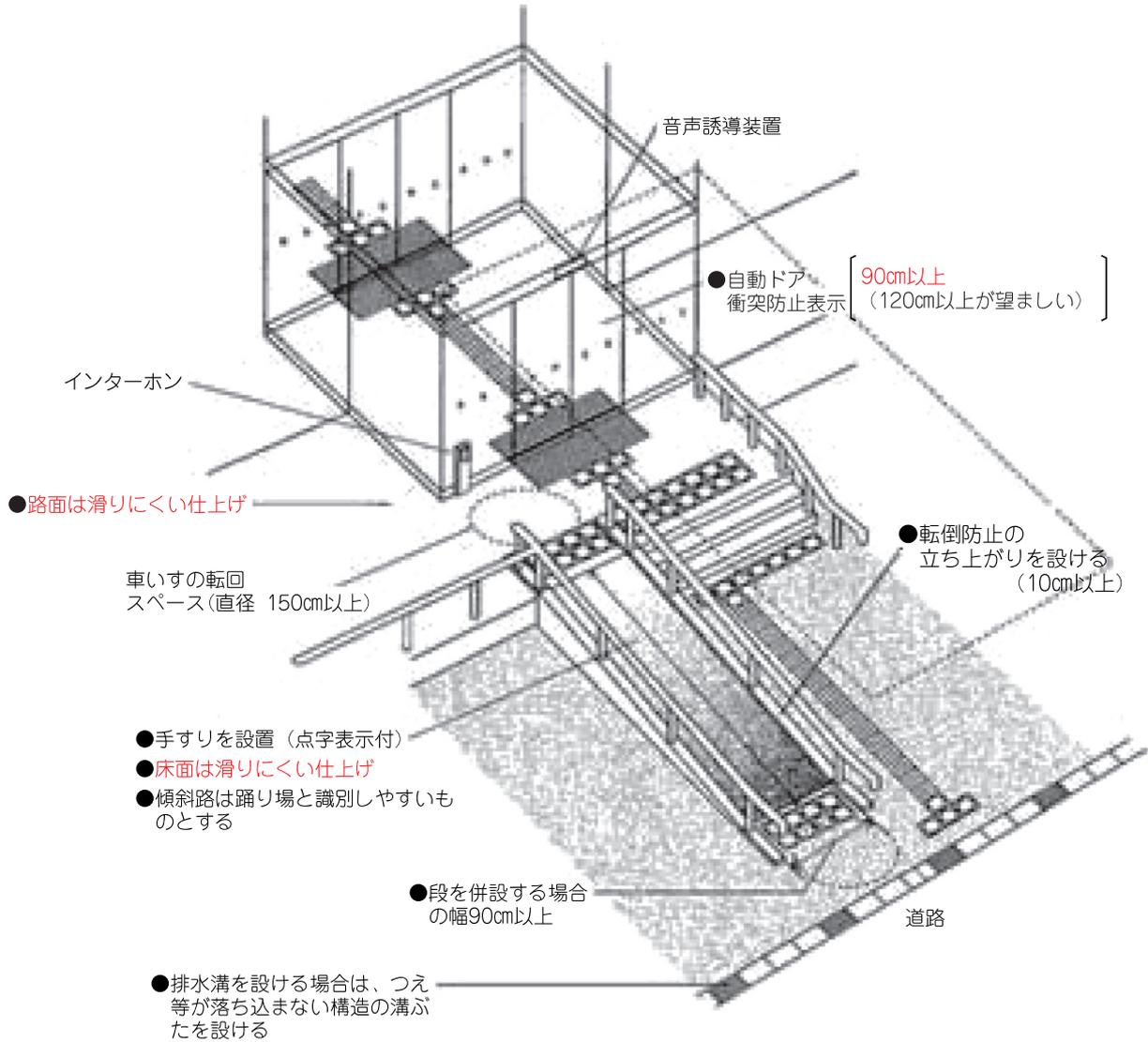


※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。  
※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

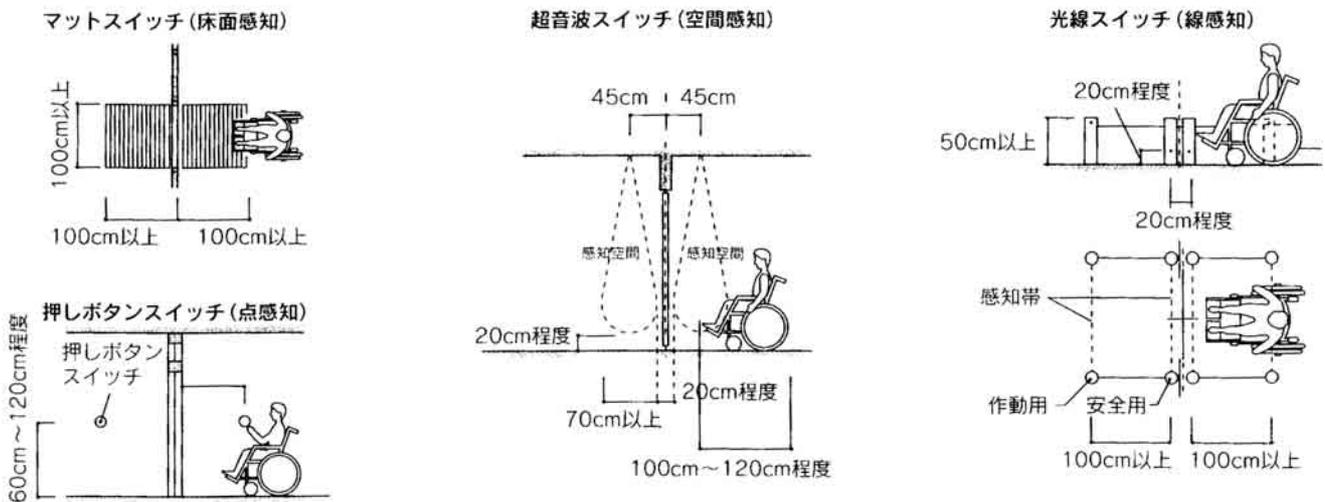
関係法令・資料等

・都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン(国土交通省)

## ●建物玄関の設計例

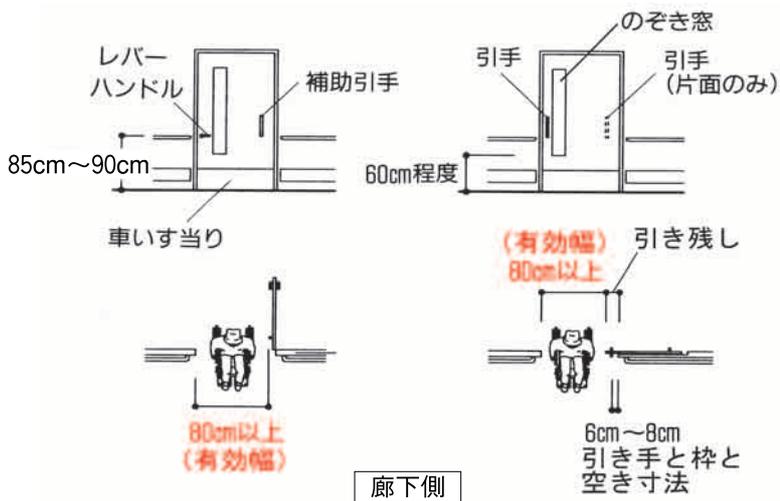


## ●自動ドアの感知方式の例

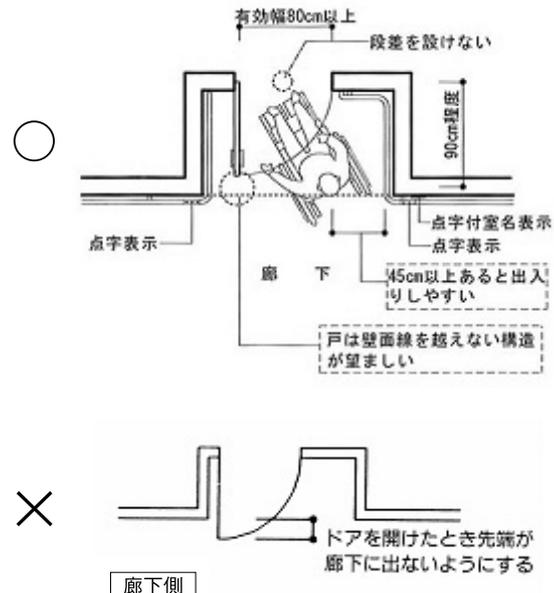


※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

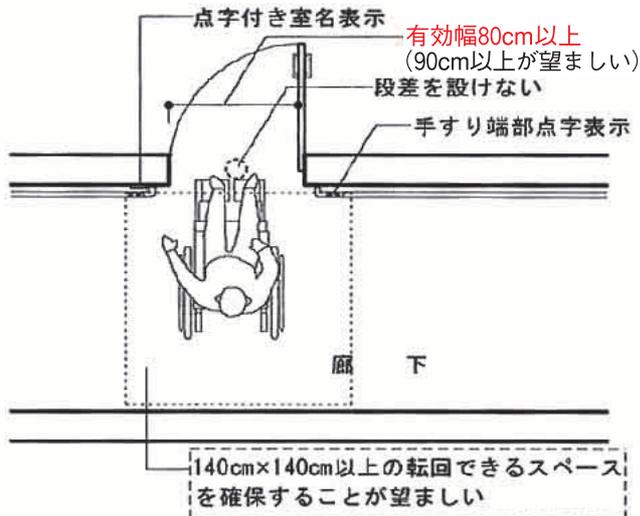
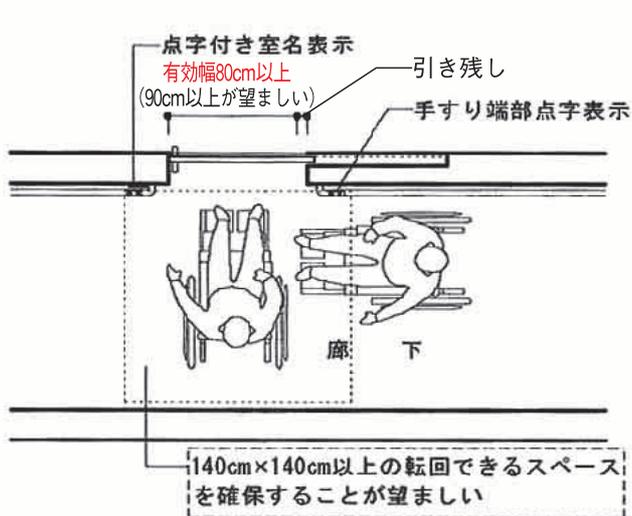
### ●開き戸及び引き戸の寸法



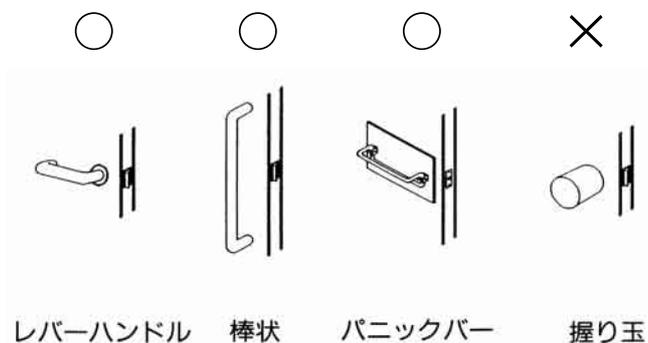
### ●外開き戸



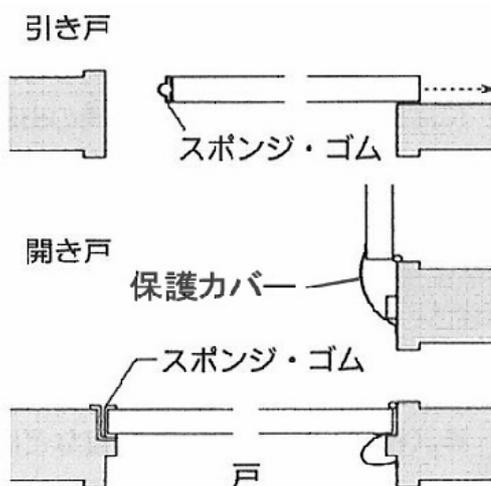
### ●戸の開き方によるスペースの取り方



### ●戸の握り手



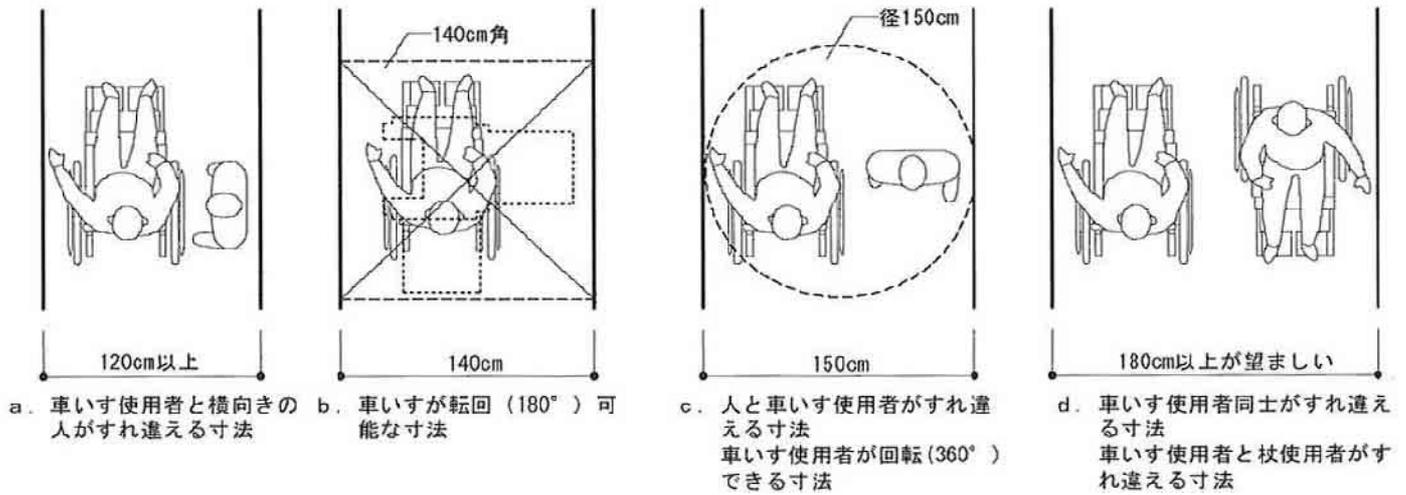
### ●指つめ防止の例



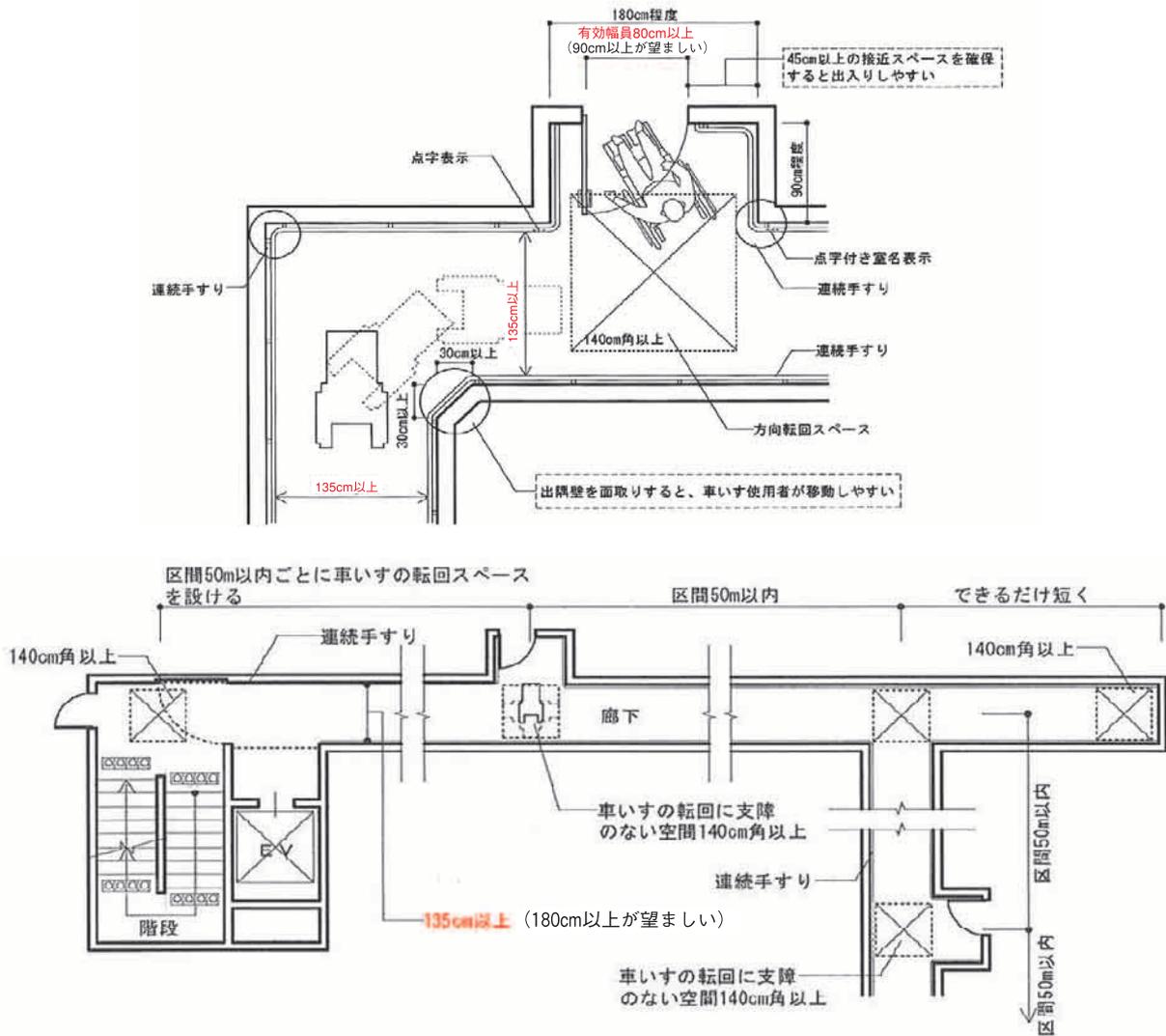
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

通路

●廊下等の有効幅(参考データ)

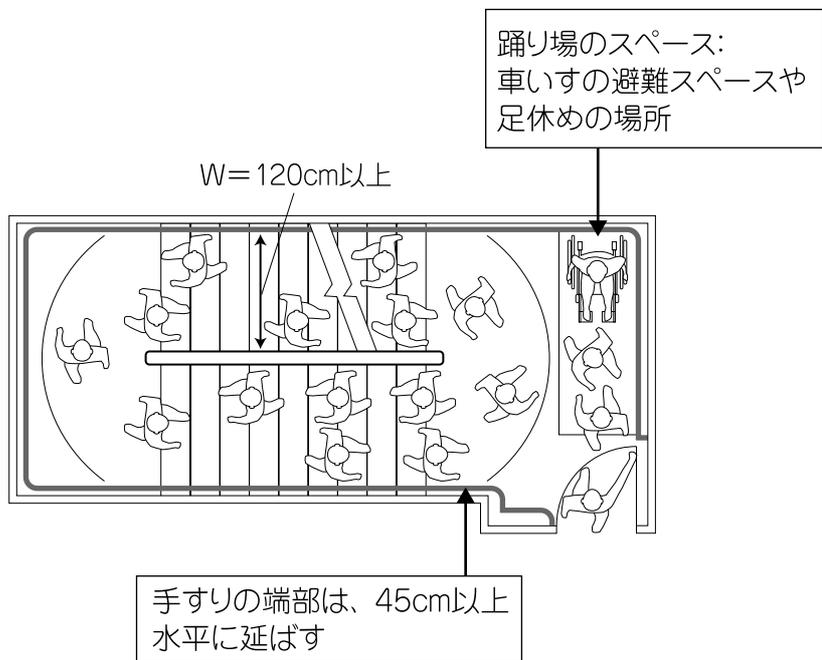
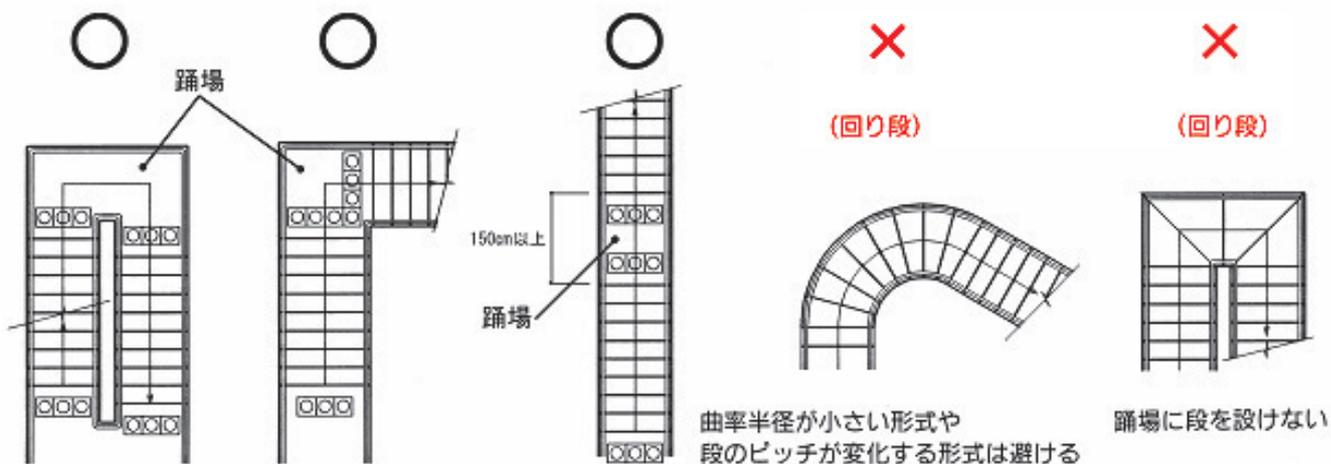


●廊下等の設置例



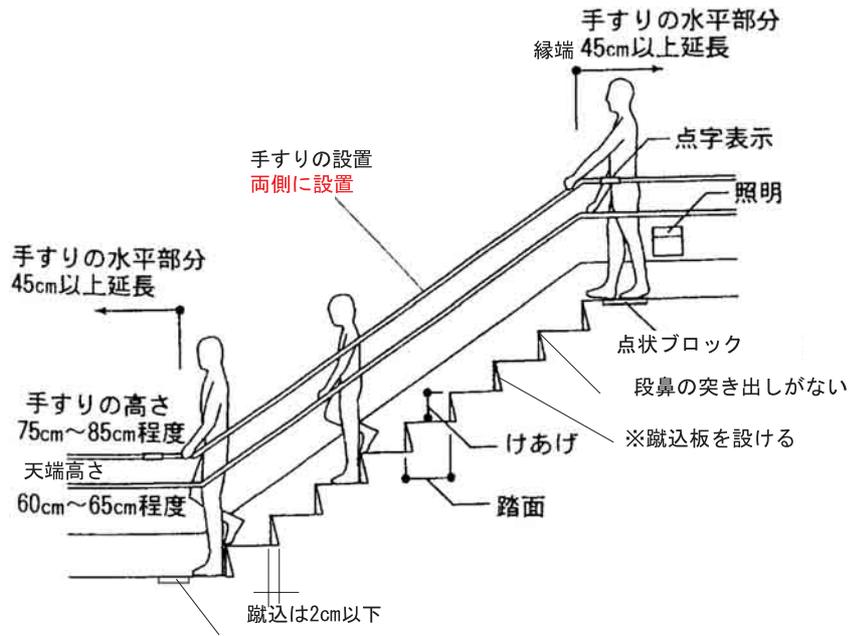
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

## ● 階段の形式

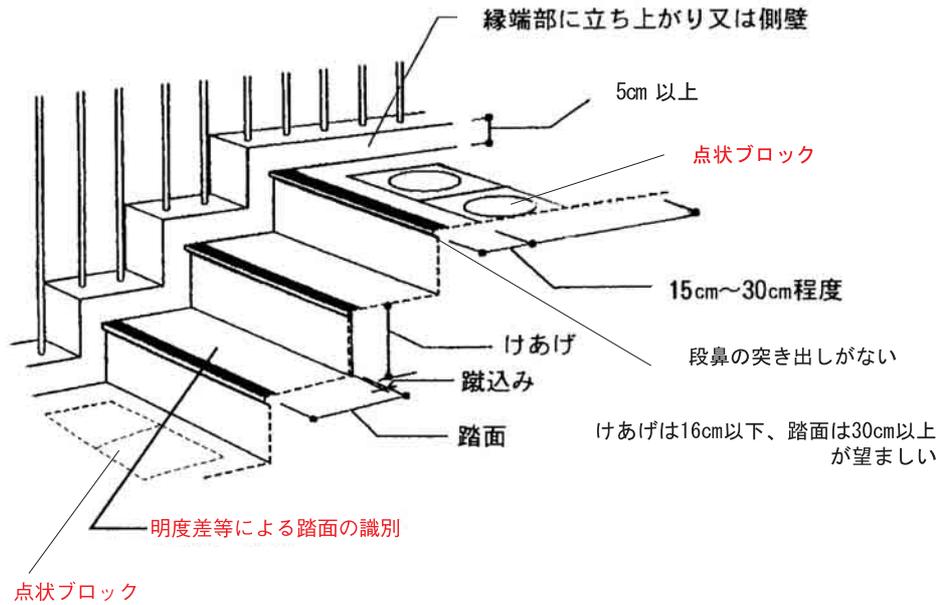


※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

## ●手すりの設置例

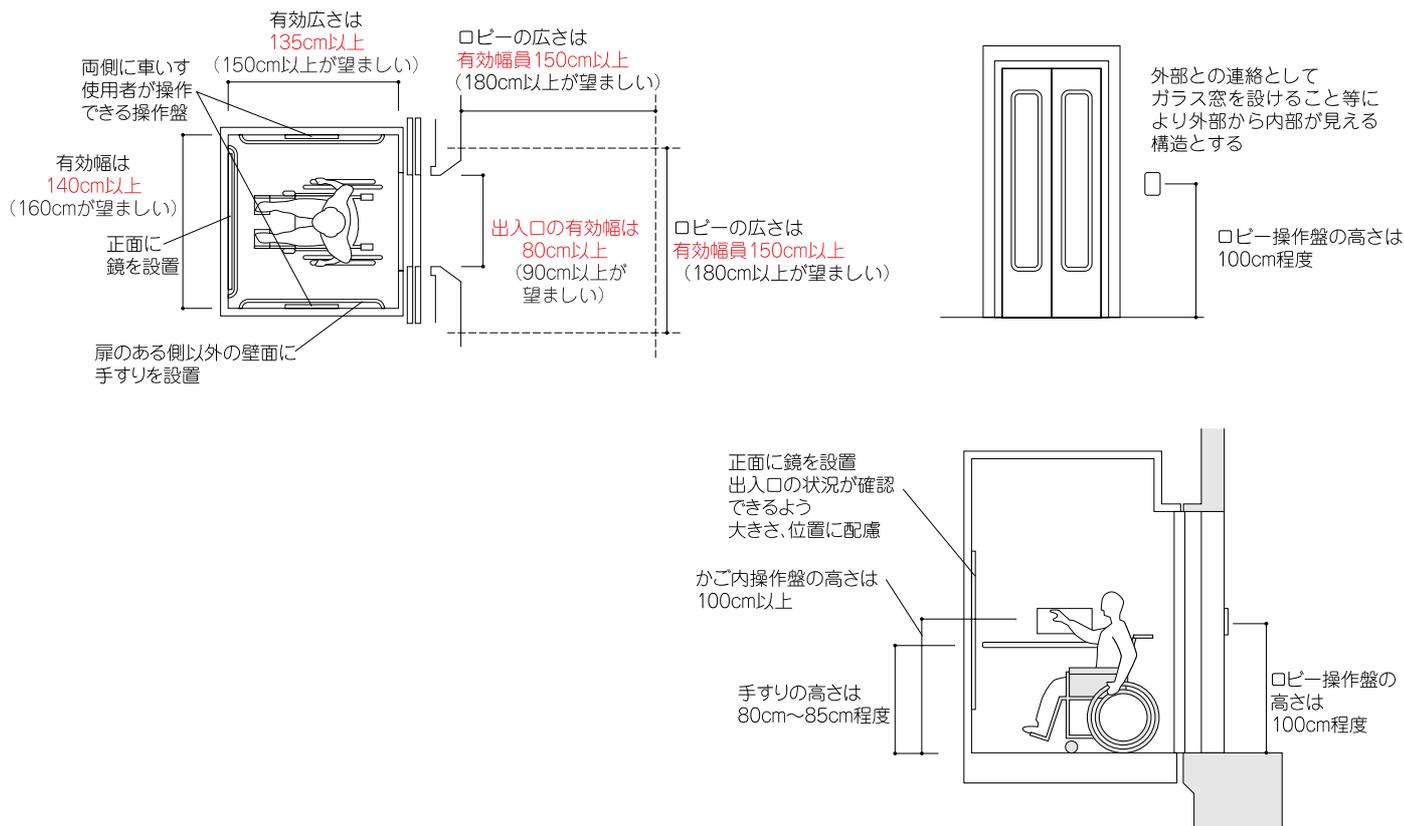


## ●蹴上げ・踏み面の仕様

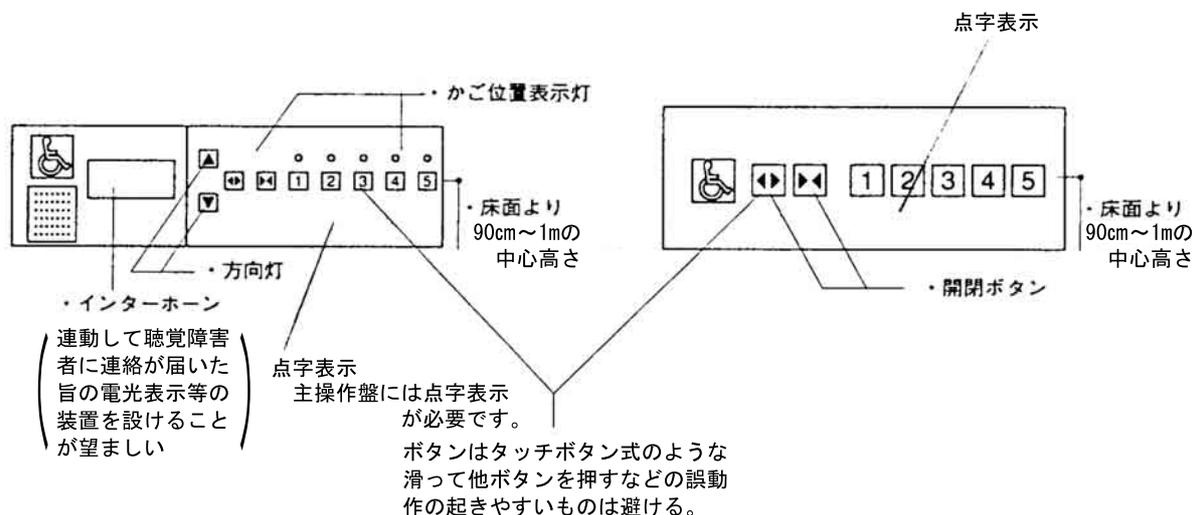


※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

### ●エレベーターの仕様

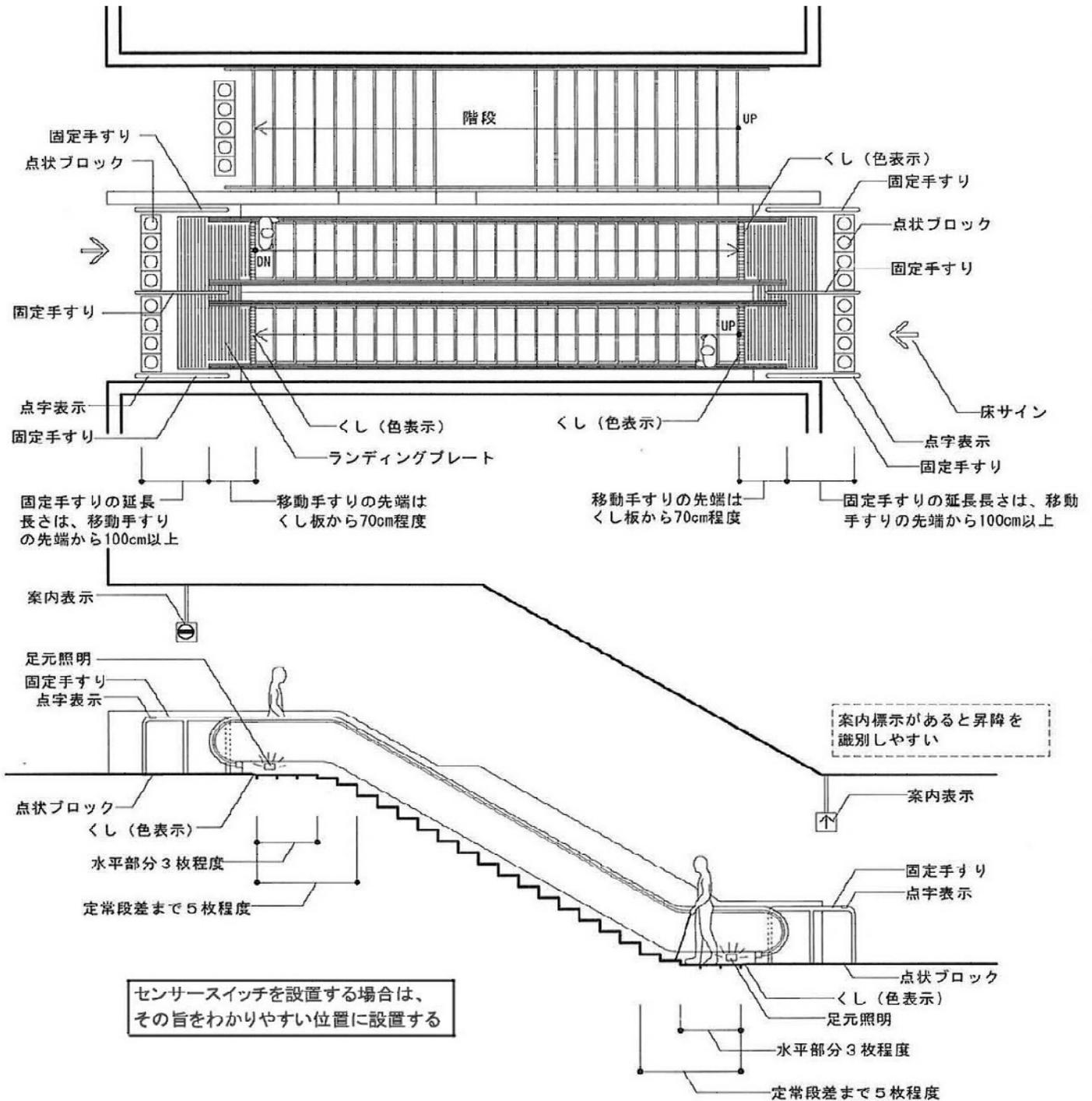


### ●車いす使用者用操作盤の例



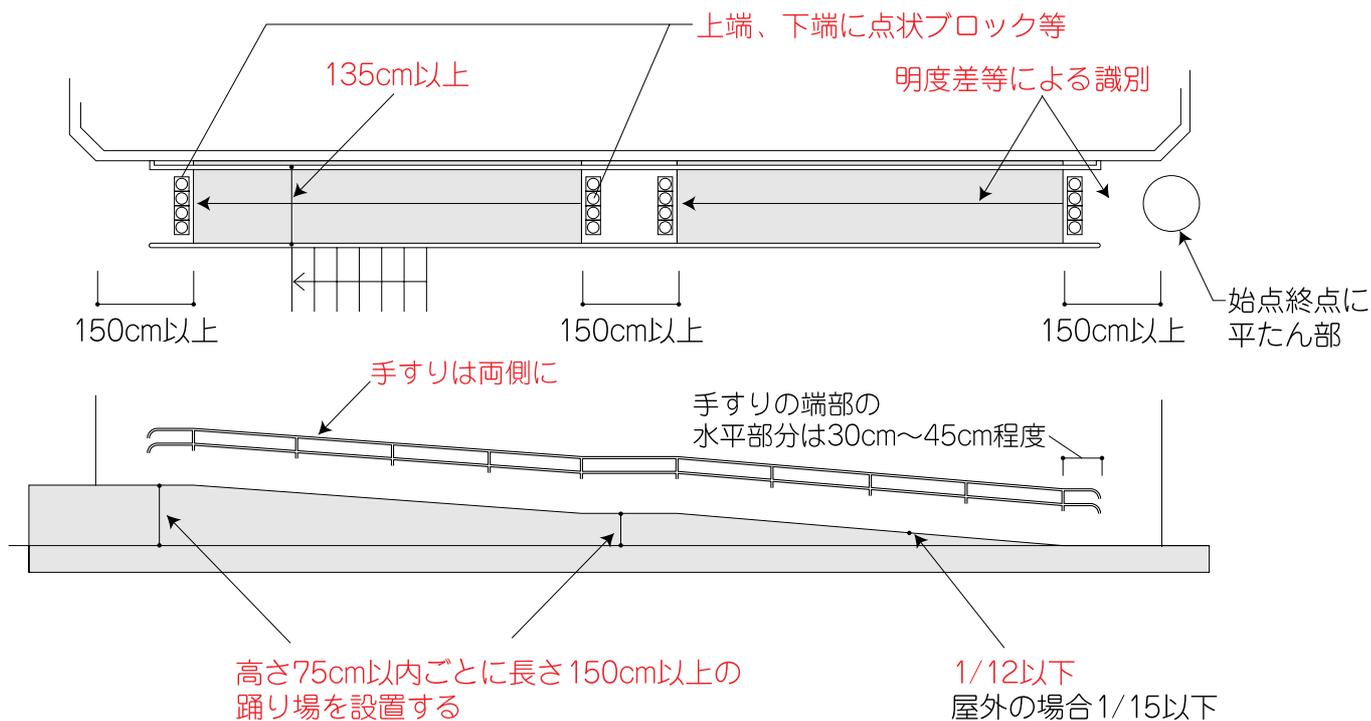
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

# ●エスカレーターの設置例

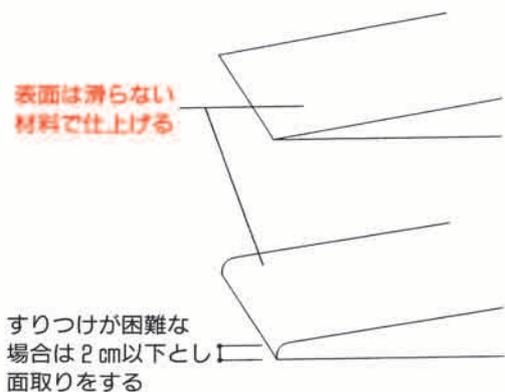


※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

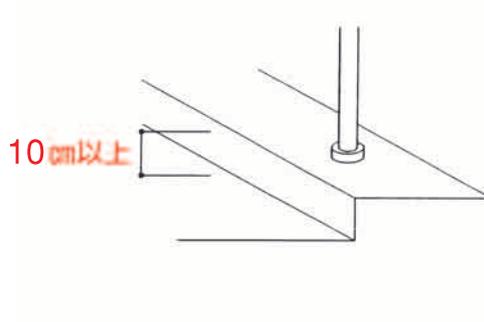
## ●スロープの形状



## ●すりつけの例



## ●縁部の立ち上がり



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

● 手すりの設置例

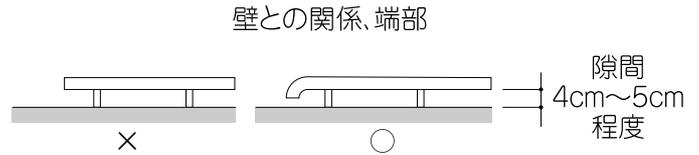
【仕様】

壁との隙間

- ・ 4 cm～5 cm 程度

形状(大きさ)

- ・ しっかり握る手すり 直径 3 cm～4 cm
- ・ 立ち座り用手すり 直径 2.8 cm～3.5 cm
- ・ ひじや手のひらで使う手すり 6 cm～7 cm



【設置方法】

設置高さ

- ・ 75 cm～85 cm 程度

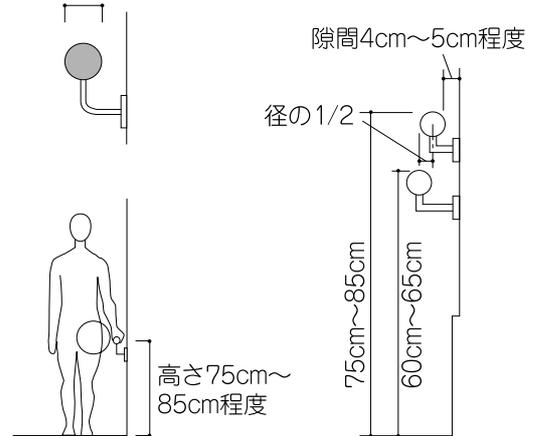
できれば!

2 段手すりを設置

- ・ 85 cm 程度と 65 cm 程度
- ・ 下段手すりは径の 1/2 外側

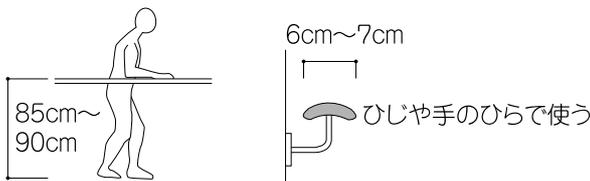
〈歩行者手すりの例〉

しっかり握る手すりは 3 cm～4 cm



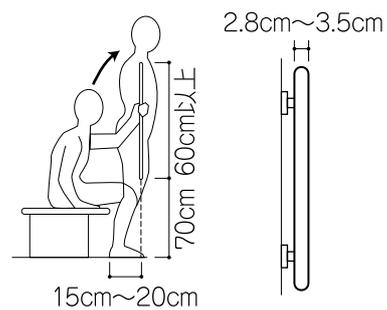
〈もたれかかって使う手すりの例〉

もたれかかって使う場合は、ひじで支える場合が多い。この時は 85 cm～90 cm と高く設定する。



〈立ち座り用手すりの例〉

手すりがいすの横だと立ったときに体を引っ張られてしまうので前寄りにつける。



【横断歩道橋】

- ・ 冬期に圧雪、または凍結の恐れがある階段および斜路で幅員が 3 m 以上ある場合には、その中間にも手すりを設けるのが望ましい
- ・ 身体障害者の利用の多い地域においては、必要に応じて階段等以外の部分にも手すりを設置することが望ましい

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

● トイレの設計例

【仕様】

ブースの大きさ

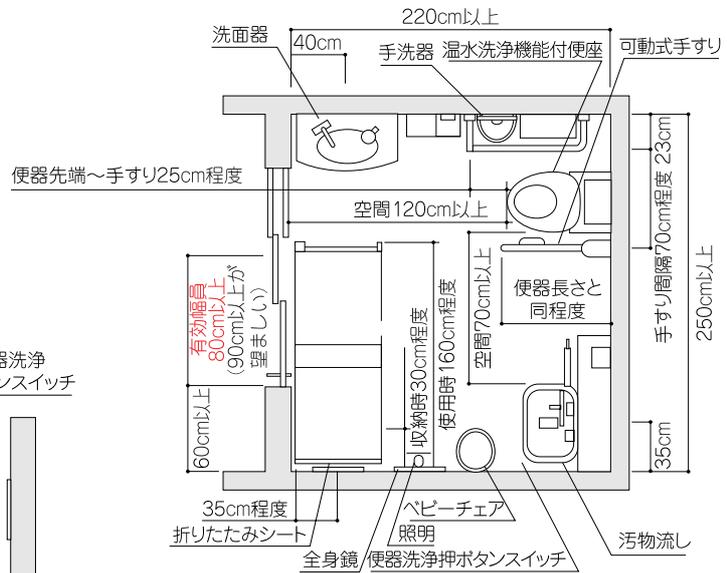
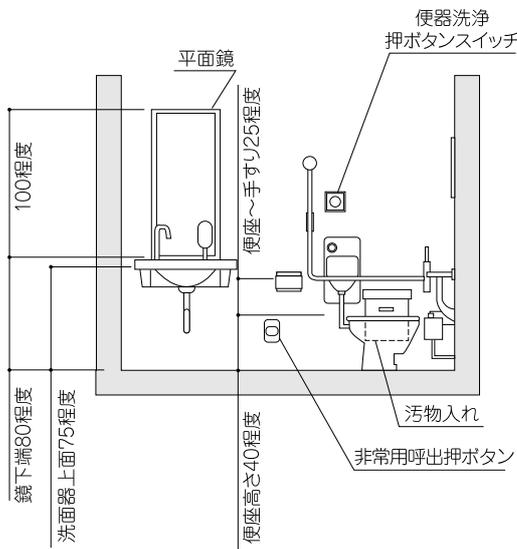
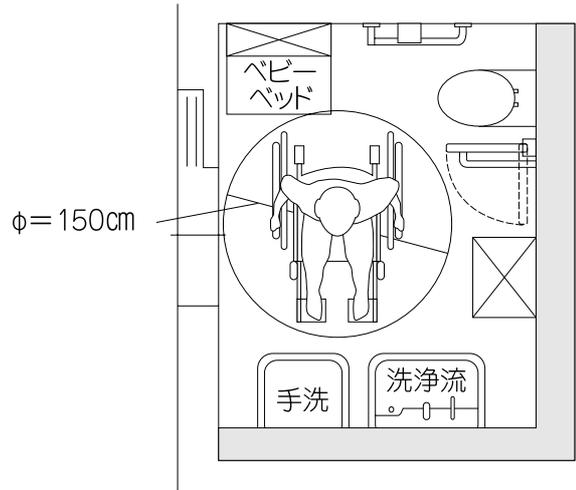
- ・ 直径  $\phi = 150\text{cm}$  以上

出入口扉

- ・ 幅員  $W = 80\text{cm}$  以上
- できれば!  $W = 90\text{cm}$  以上

鏡

- ・ 床上  $H = 80\text{cm}$  程度



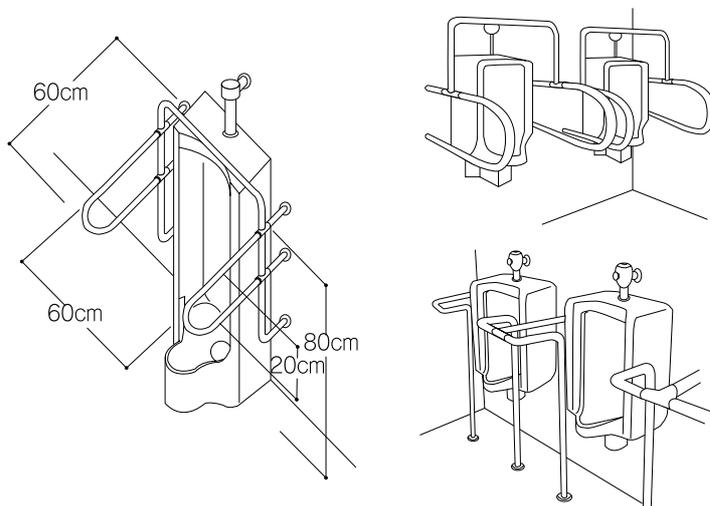
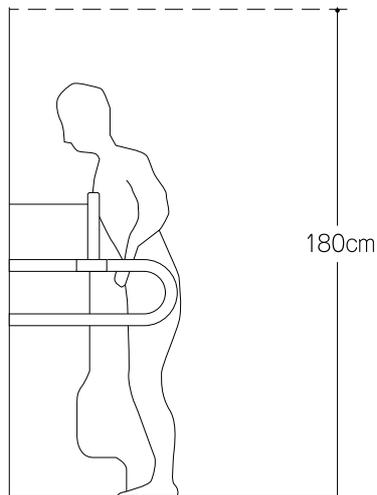
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

## ●男子小便器

### 【男子小便器】

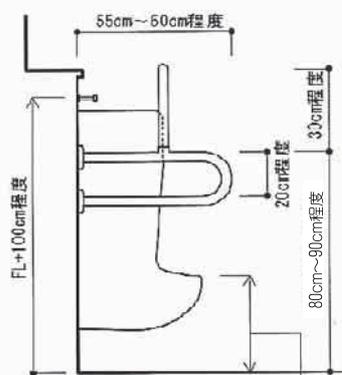
小便器には手すりを設ける

・設置例



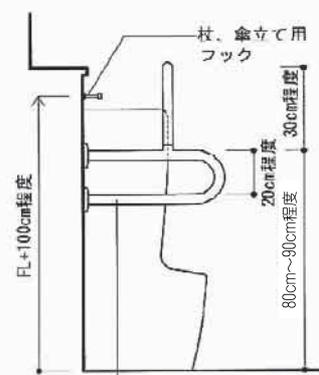
### ●小便器

#### 壁掛式低リップ



リップの高さは35cm程度が  
誰もが利用しやすい

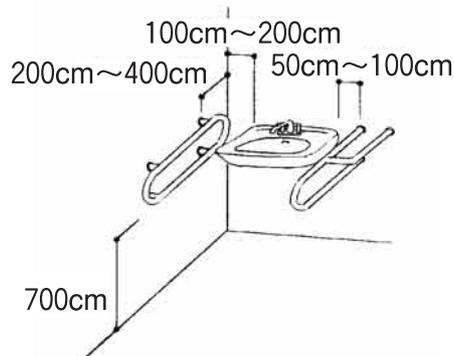
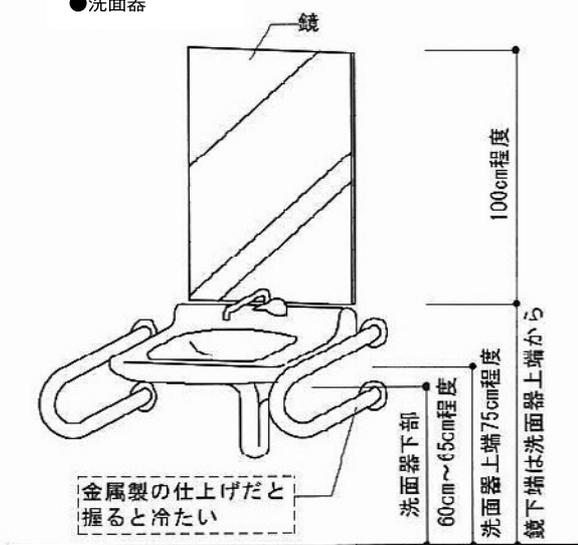
#### 床置き式ストール



金属製の仕上げだと  
握ると冷たい

## ●洗面器

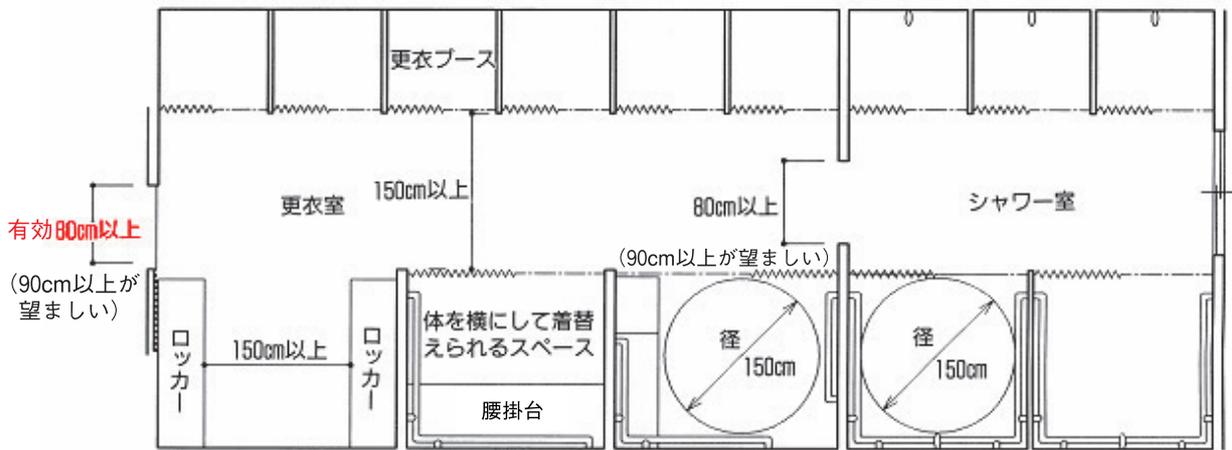
### ●洗面器



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

### 3 更衣室・シャワー室

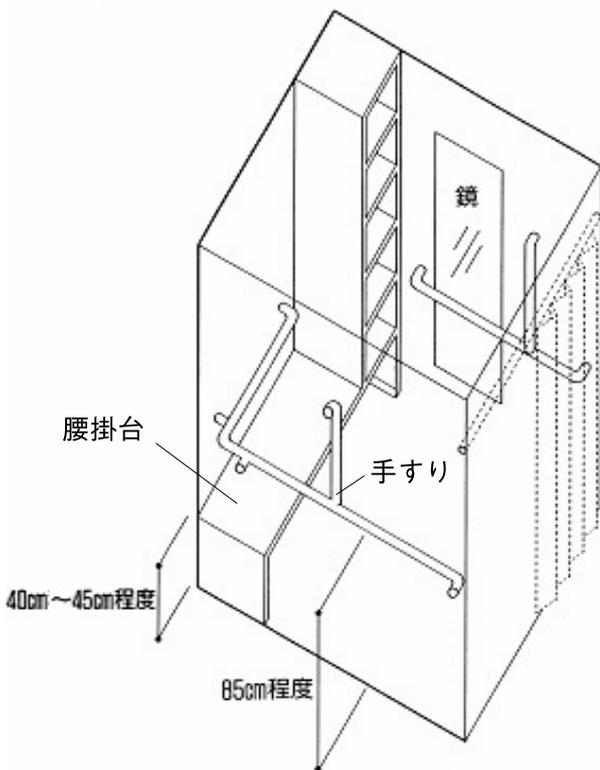
#### ●更衣室・シャワー室の設置例



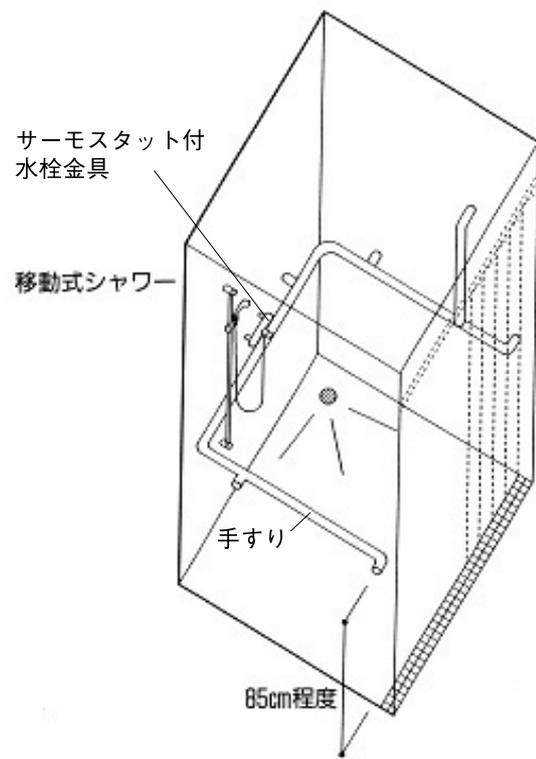
障害がある人などに  
配慮した更衣ブース

障害がある人などに  
配慮したシャワーブース

#### ●更衣ブースの例



#### ●シャワーブースの例

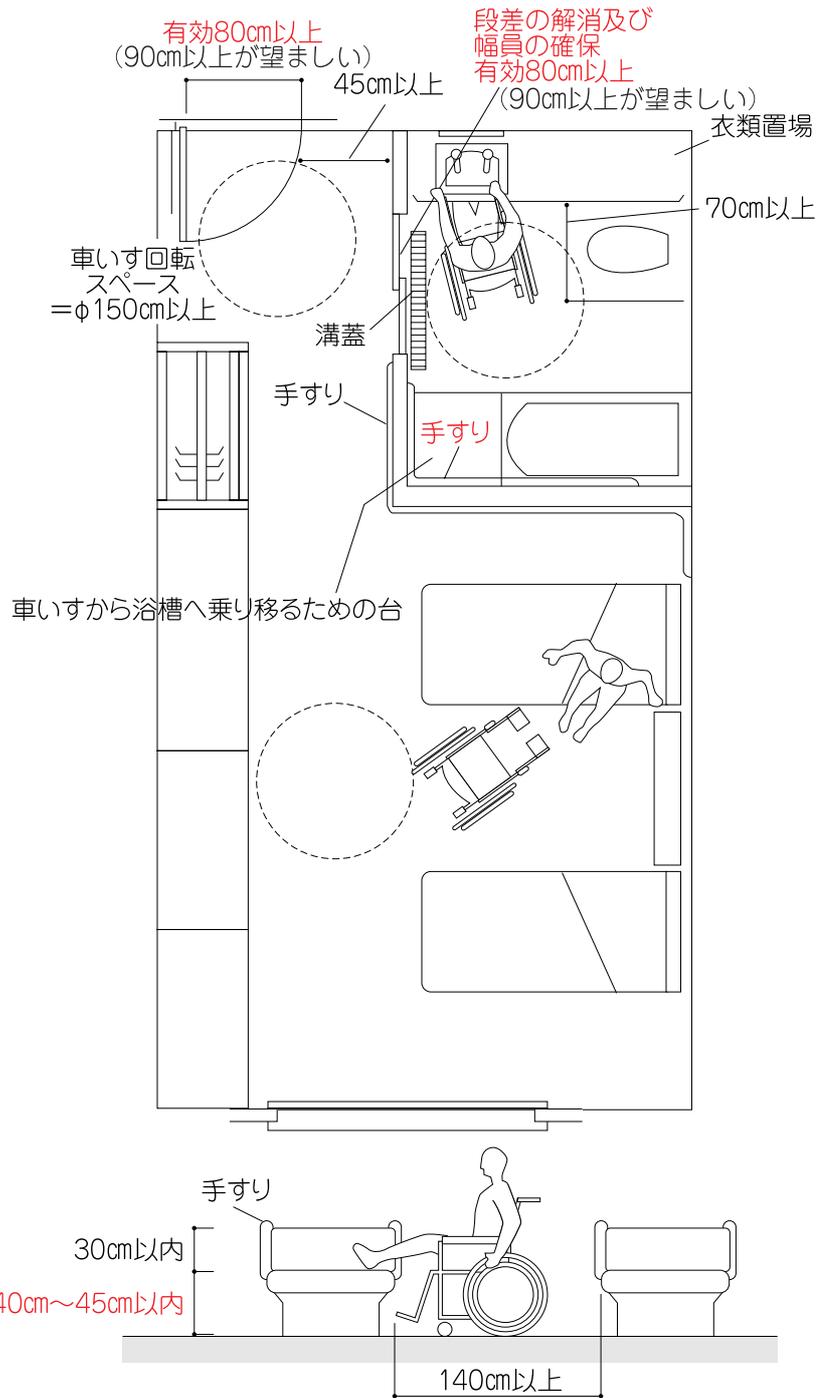


※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。



## 5 宿泊施設の客室等

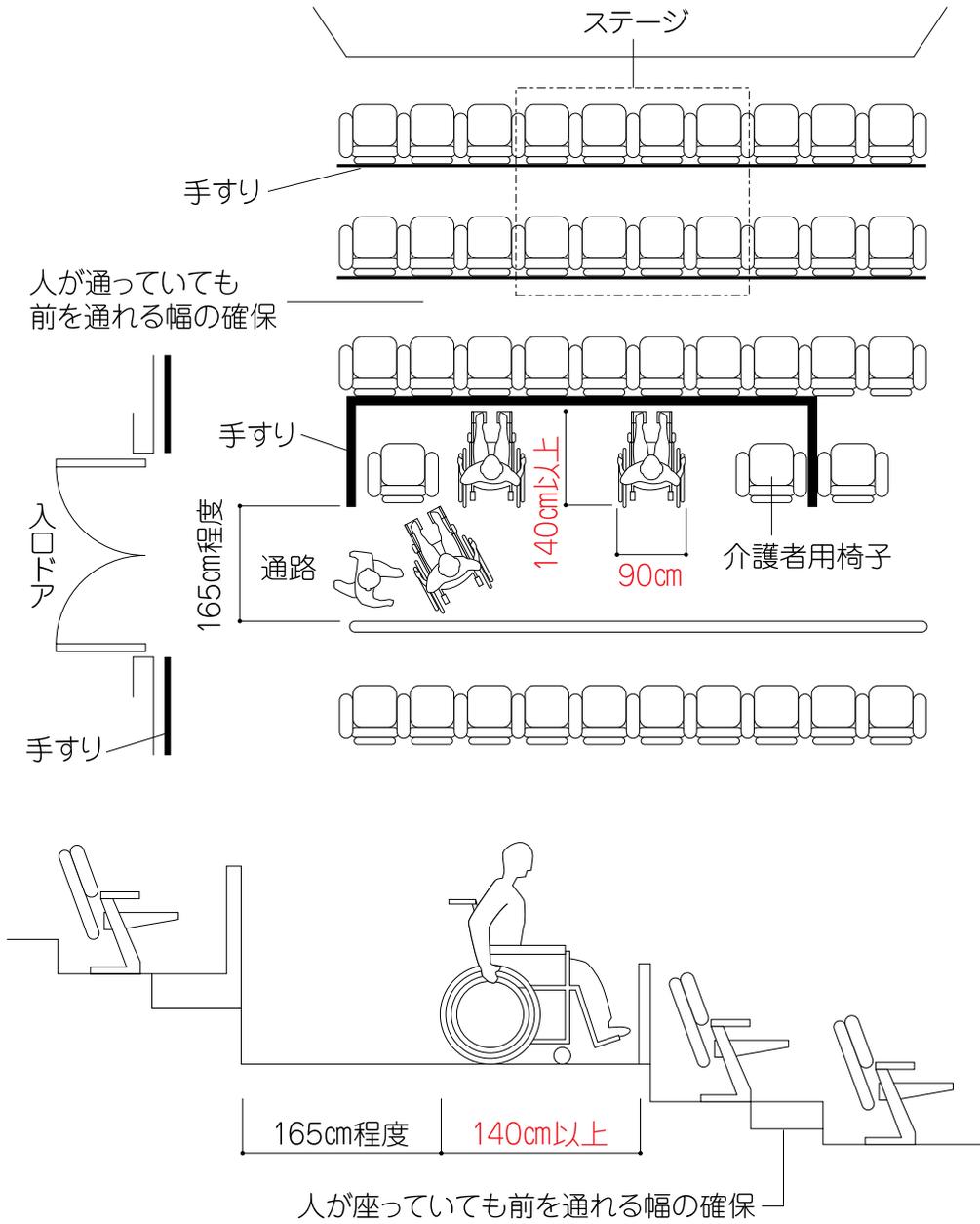
### ● 客室の例



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

## 6 観覧席・客席

### ● 観覧席・客席の例



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

## 7 受付カウンター・水飲み場・公衆電話

### ● 受付カウンター・水飲み場・公衆電話設置例

子どもや車いす利用者も利用しやすいよう高さの低いものと高いものを併設または近接して設けましょう。

#### 【受付カウンター】

(座位タイプ)

##### 幅

・ 80cm 以上

##### 奥行き

・ 60cm~90cm

##### 上端の高さ

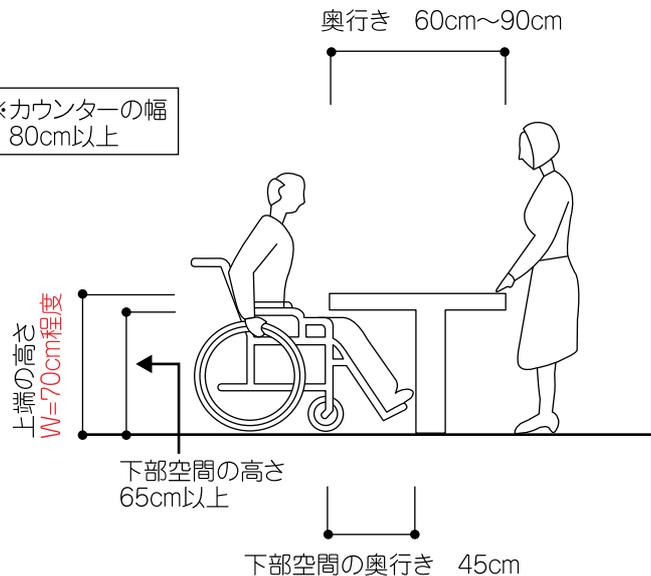
・ 70cm 程度

##### 下部空間の高さ

・ 65cm 以上

##### 下部空間の奥行き

・ 45cm 以上



#### 【水飲み場】

##### 水飲み口の高さ

・ 最大91.5cm

##### 下部空間の高さ

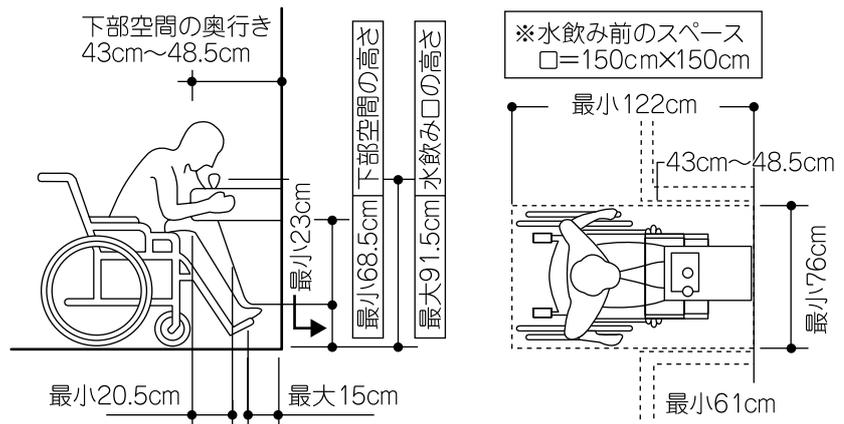
・ 最小68.5cm

##### 下部空間の奥行き

・ 43cm~48.5cm

##### 水飲み前のスペース

・ □ = 150cm × 150cm



#### 【公衆電話】

##### 電話台の高さ

・ 70cm~80cm

##### 下部空間の高さ

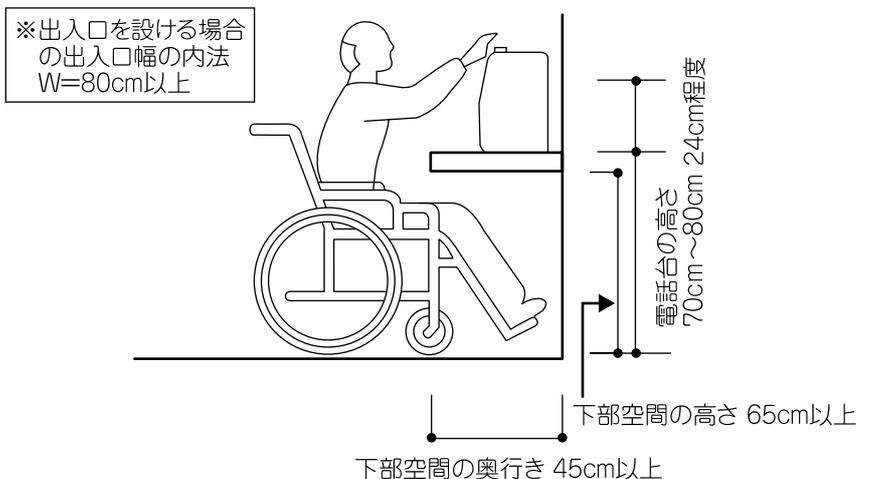
・ 65cm 以上

##### 下部空間の奥行き

・ 45cm 以上

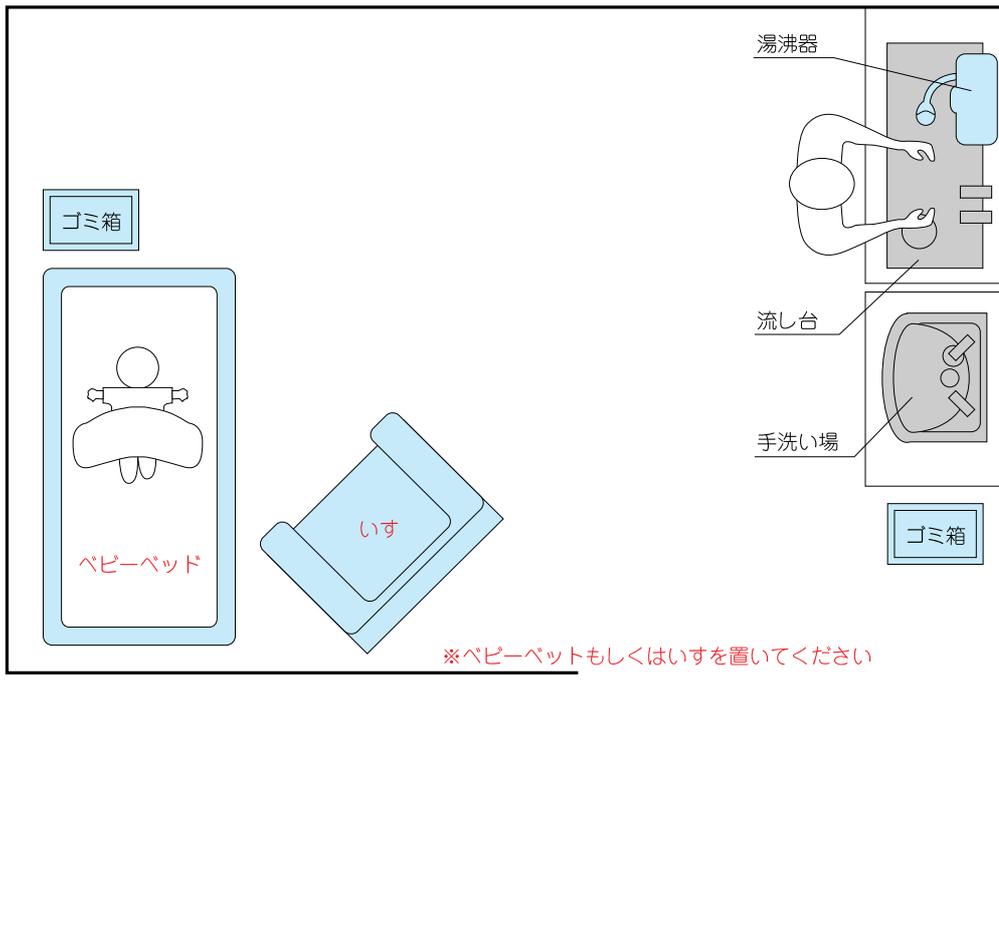
##### 出入口を設ける場合の 出入口幅の内法

・ 80cm 以上



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

●授乳室の例



授乳及びおむつ替えの場所の例

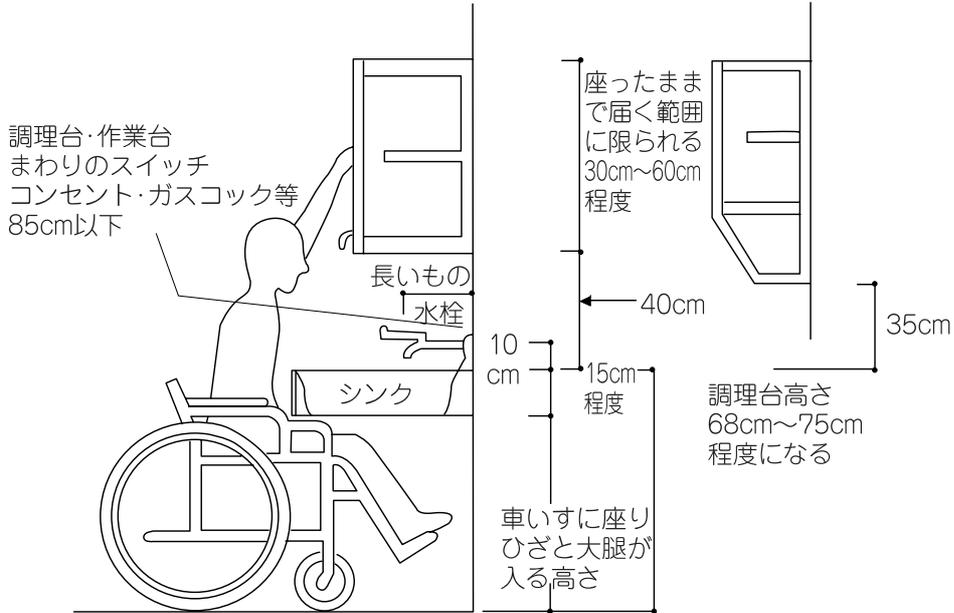


案内表示の例

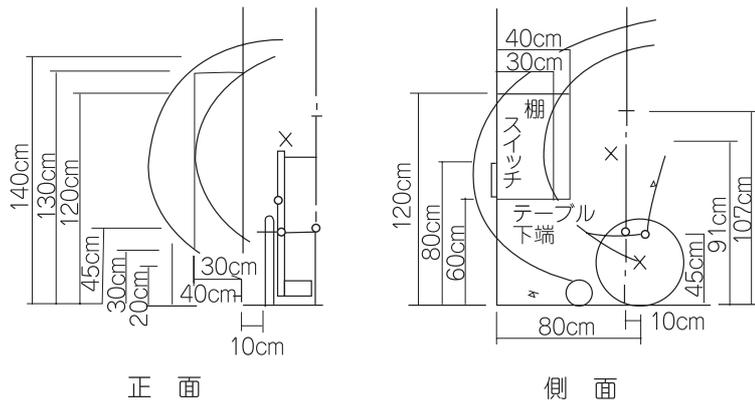
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

# 9 操作ボタン・スイッチ等

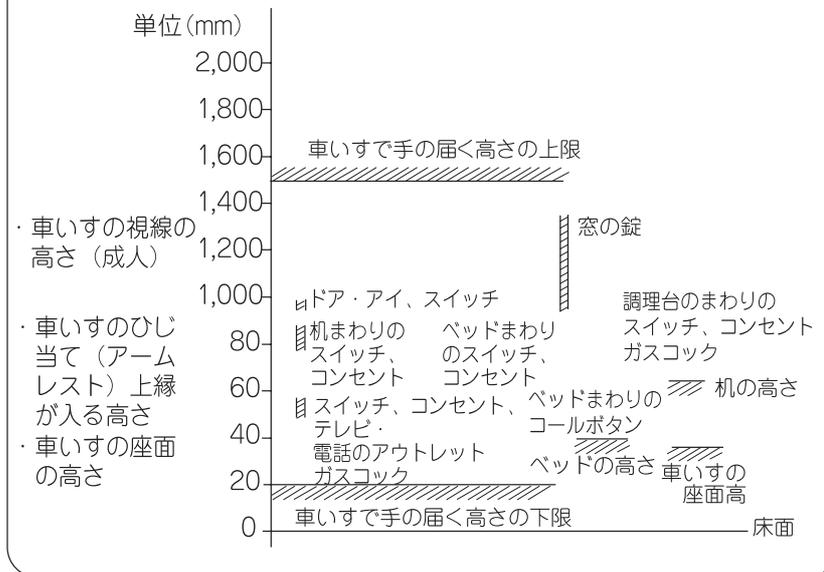
## ●車いす利用者のための器具取付寸法



### 車いす利用者のための器具取付寸法

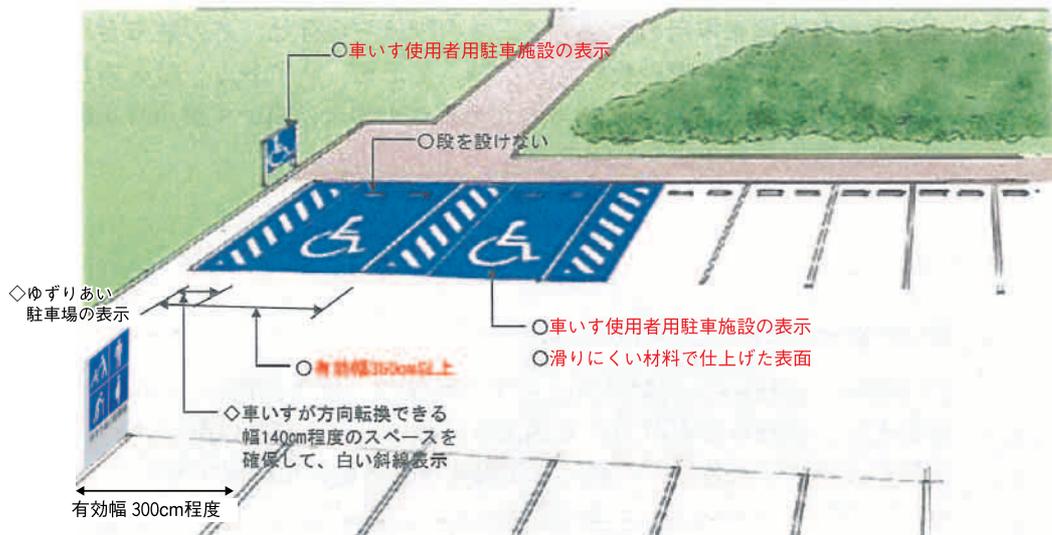


(内側の線は座った状態で、外側の線は身をのり出した状態で届く範囲)



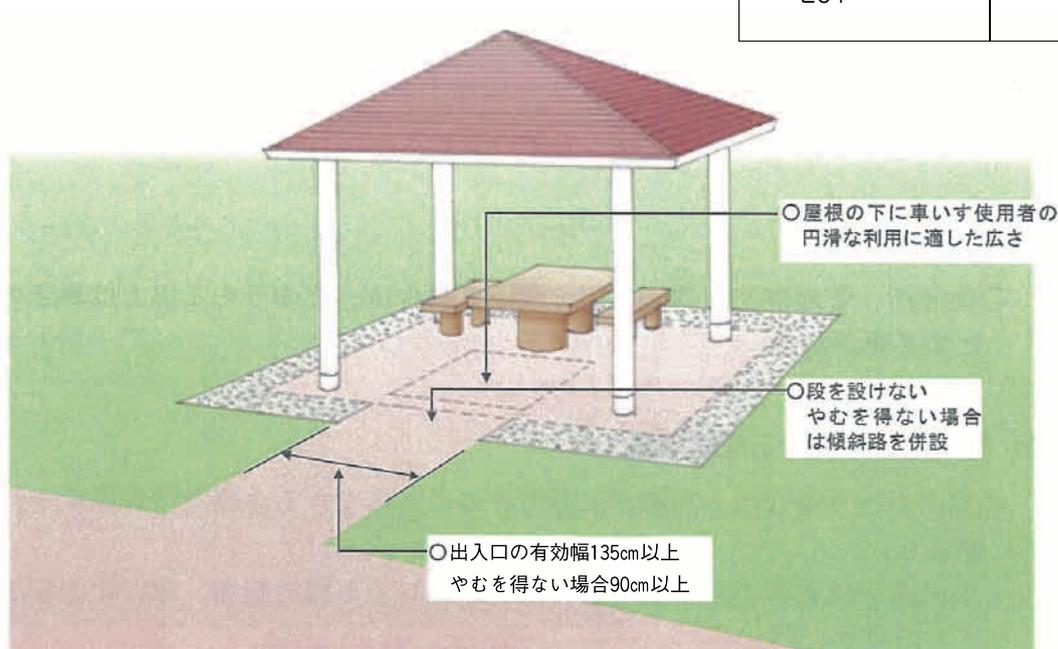
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

● 駐車場



全駐車台数	車いす使用者用 駐 車 区 画
1～50	1
51～100	2
101～150	3
151～200	4
201～	全駐車台数× 1%+2

● 休憩所



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。  
 ※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

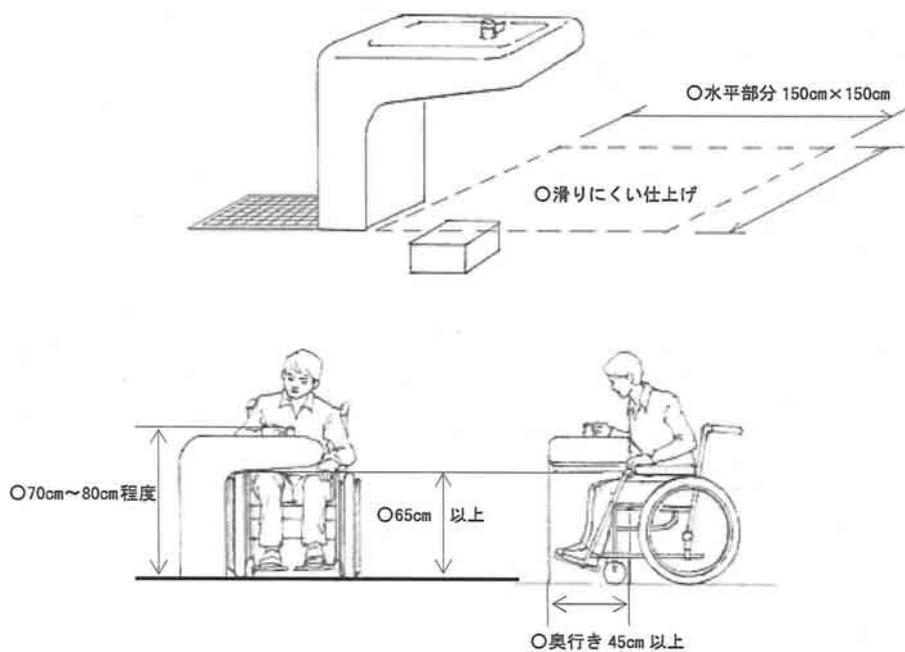
・都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン(国土交通省)

関係法令・資料等

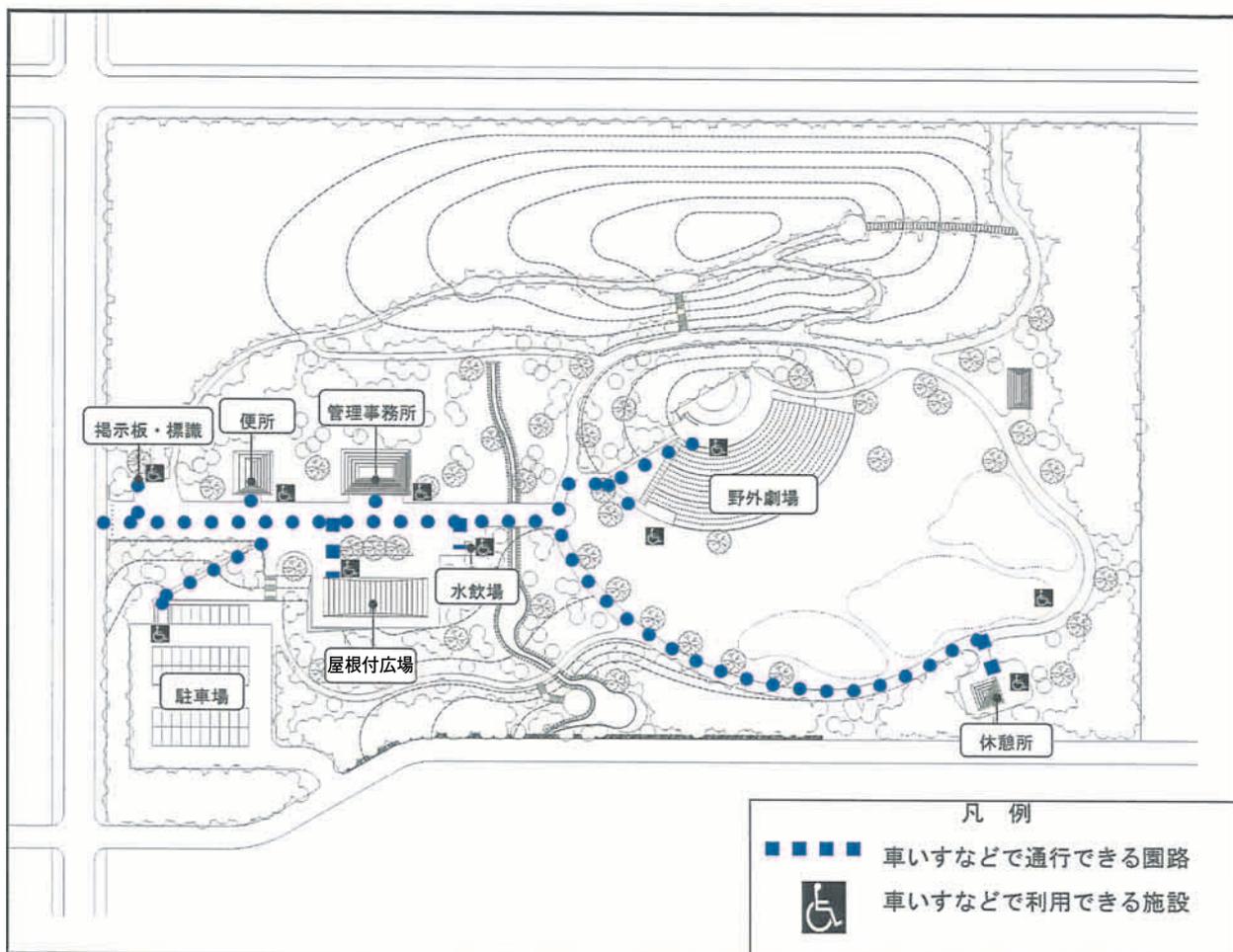
## ●水飲場

[ 水飲場 ]

○高齢者、障害者等の円滑な利用に適した構造



## ●案内板の表示事例



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。

# 11 プラットホーム・バスターミナル・バス停留所・タクシー乗降場・乗船場

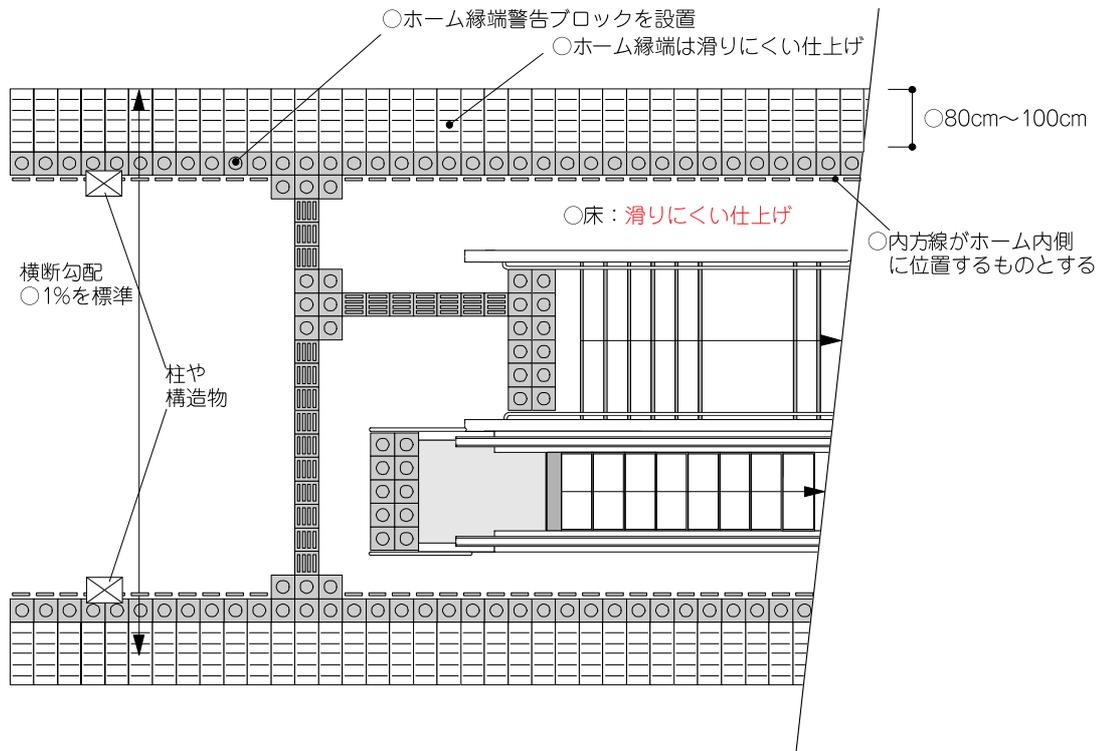
公共交通の乗降場は、だれもが円滑に利用できないのはもちろんですが、接触や転落等の事故の危険性が高い場所であるため、安全には特に配慮が必要です

さらに快適に利用するためには、待合い場所や待ち時間にも考慮する必要があるとともに、わかりやすい行き先の表示などにも細やかな配慮が必要です

表面は滑りにくい材料で仕上げる  
縁端部には、点状ブロック等を敷設する  
両端には、転落防止柵を設ける(バスターミナルを除く)  
ベンチを一以上設ける

## ●プラットホームの例

プラットホームの例



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。

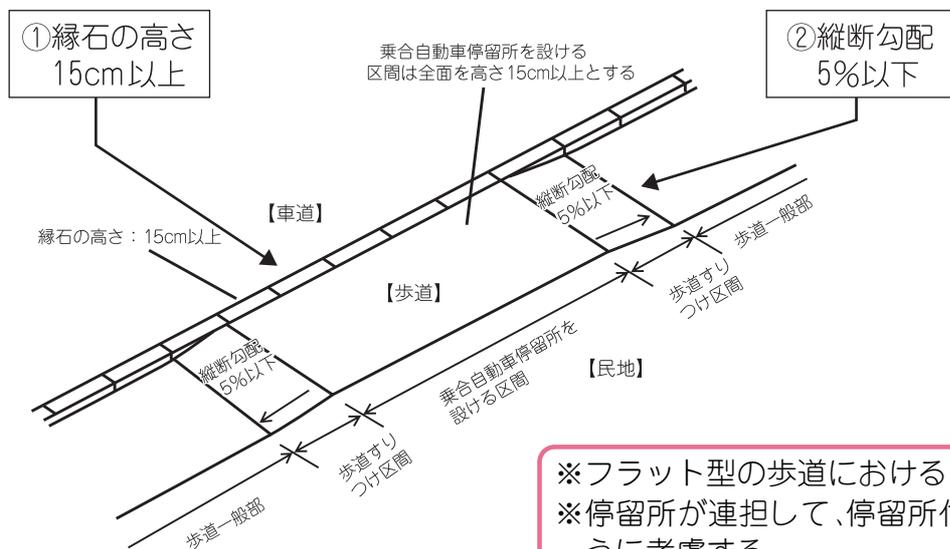
※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

・公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン(国土交通省)

関係法令・資料等



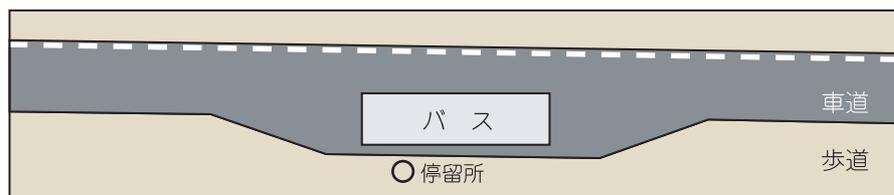
## ●バス停留所



## ●バス停留所の形式

### ①バスベイ型

歩道に切り込みを入れてバスの停車帯を設ける



### ②ストレート型

歩道の幅員を変えずにバスの停留所を設ける



### ③テラス型

車道側に張り出してバスの停留所を設ける



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。  
 ※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

関係法令・資料等

・「道路の移動円滑化整備ガイドライン」 大成出版社  
 (編集・発行/財団法人国土技術研究センター、初版:2003. 5. 30)

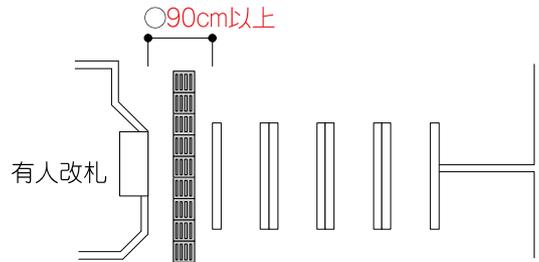
## 12 改札口・通路・階段

改札口は旅客の主要動線の中で、最も狭い部分であり混雑する場所です。ここをスムーズに通過できるようにすることが重要です  
特に乗降場に至る通路や階段については、利用者も多く危険が伴うため安全面での配慮が必要です

### ●改札口

改札口の一つ以上について、  
有効幅員は、90センチメートル以上  
車いす使用に支障となる段を設けない

改札口の例

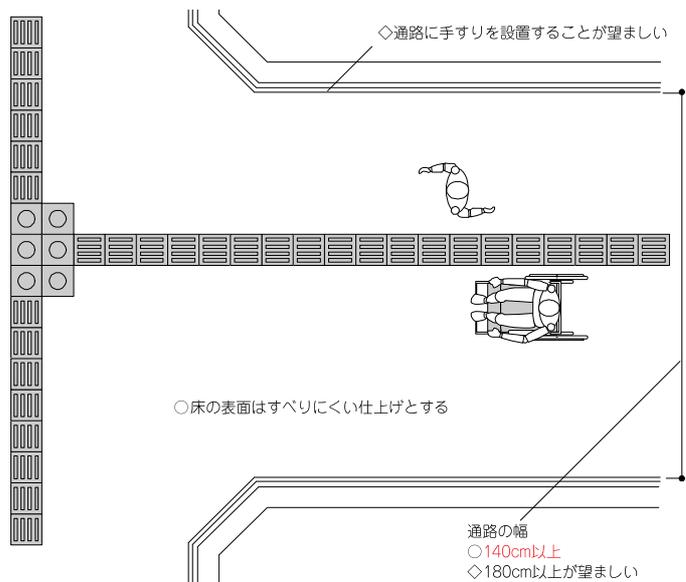


### ●通路

表面は滑りにくい材料で仕上げ、段を設ける場合には、〔1 移動空間⑩階段〕に準じた構造とし、線状・点状ブロック等を敷設

改札口から乗降場への通路のうち、一つ以上は

- ①有効幅員は140センチメートル以上。  
ただし、やむを得ない場合は、通路の末端の付近の広さを車いすの転回に支障のないものとし、かつ、50メートル以内ごとに車いすが転回できる場所を設けた上で、有効幅員を120センチメートル以上とすることができる
- ②高低差がある場合は、〔1 移動空間⑫スロープ〕と同様の構造とするか、車いす使用者用特殊構造昇降機を設けること



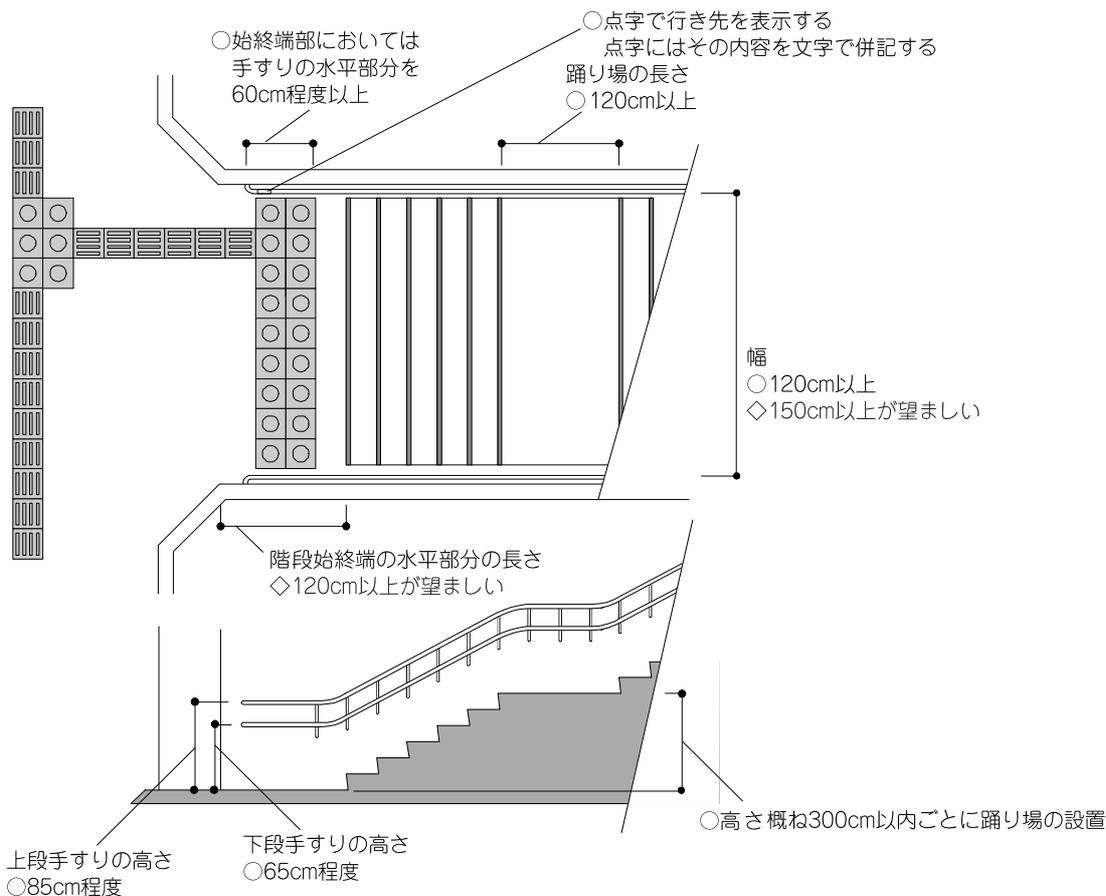
※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。  
※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。

・公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン(国土交通省)

関係法令・資料等

## ● 階段

改札口から乗降場への経路に階段がある場合は、〔1 移動空間⑩階段〕と同様の構造とする



注) 上図は、直棒状の2段手すりを設置した場合の例

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準を示しています。  
 ※本データは、ユニバーサルデザインの手掛かりとして、下の関係法令・資料等を参考に整理したものです。  
 ・公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン(国土交通省)

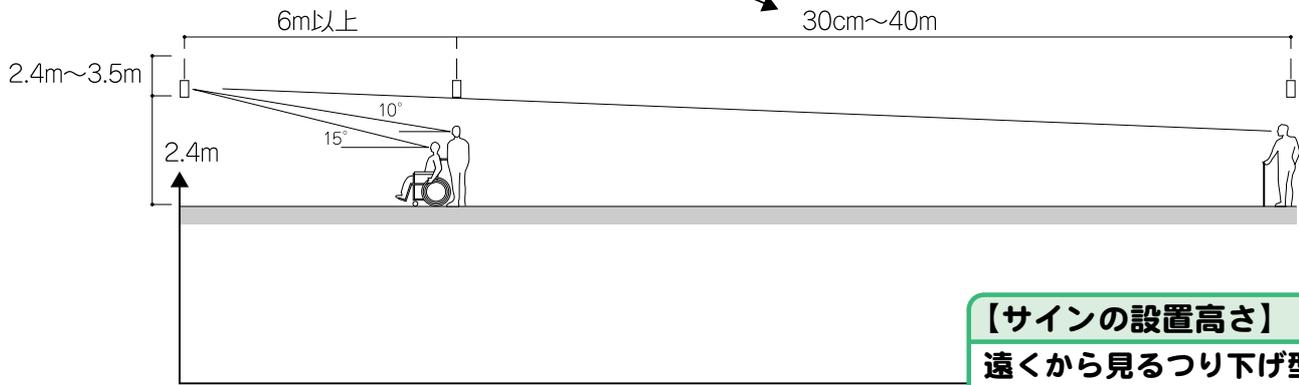
関係法令・資料等

# 1 視覚情報サイン

## 【サインの設置間隔(遠距離を誘導する場合)】

サインの設置間隔の最短距離  
概ね 6 m 以上

見通しの良い直線部  
30cm~40m 以内



## 【サインの設置高さ】

遠くから見るつり下げ型  
又は突出型サイン

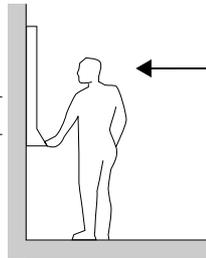
H=2.4m(低くても2.1m)

## 点字を表示する場合の中心

H=1.3~1.4m(縦型)

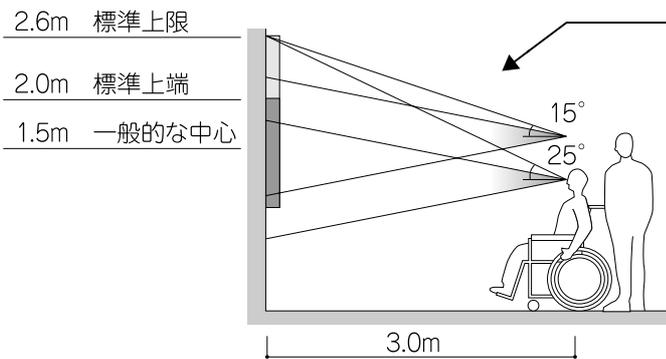
H=1.0m(傾斜型)

1.4m 点字位置(縦型)  
1.0m 点字位置(傾斜型)



## 遠距離で見るもの 壁付型の上端

H=2.0m(高くても2.6m)



## 【サインの視認距離】

遠くから視認するつり下げ型等の  
誘導サインや位置サイン

20m 以上

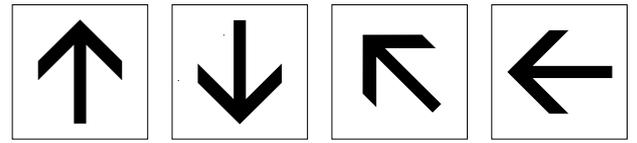
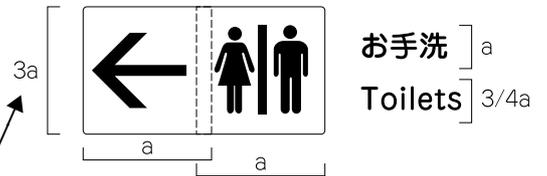
近くから視認する自立型や壁付き  
型等の案内サイン

4~5m 以下

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

**【ピクトグラム(図記号)との組み合わせ】**

5 m以上の視認距離で図記号と和文、英文を組み合わせる場合の  
 大きさ比率  
 3 : 1 : 0.75



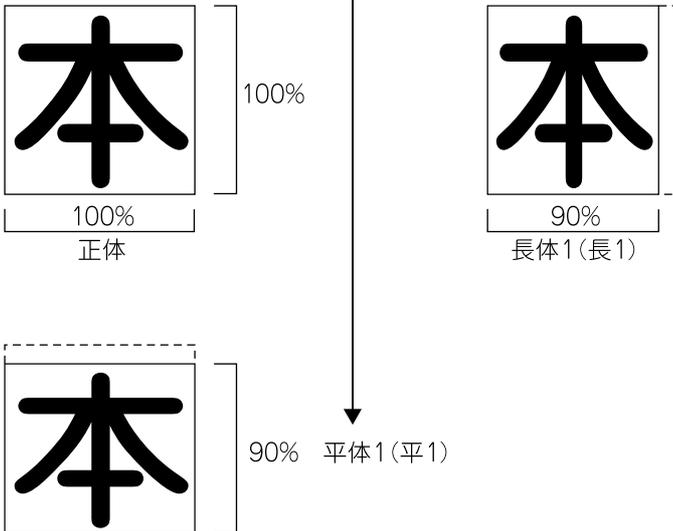
前方向は上方 下方向は手前 左前方又は上方 左

**●視認距離別文字高のめやす**

視認距離	図記号の基準枠寸法	和文文字高	英文文字高
遠距離(30m)	360mm 以上	120mm 以上	90mm 以上
中距離(20m)	240mm 以上	80mm 以上	60mm 以上
近距離(10m)	120mm 以上	40mm 以上	30mm 以上
近距離(5m)	60mm 以上	20mm 以上	15mm 以上
至近距離(1~2m)	35mm 以上	10mm 以上	7mm 以上

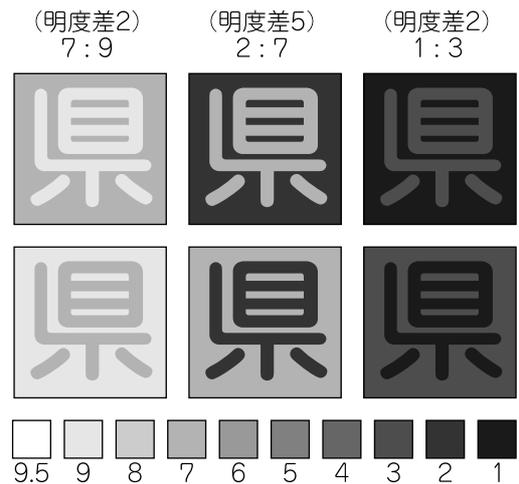
**【文字の書体】**

遠くから見るサインの和文書体  
 平体1程度



**【色彩環境等】**

文字や図と地の明度差  
 5度以上

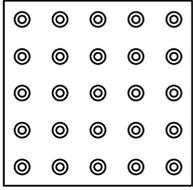


**●書体の変形例**

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

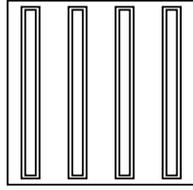
## 2 触覚情報サイン

### ● 視覚障害者誘導用ブロックの形状



#### 点状ブロック

段差等の危険箇所・動線の分岐点等の注意を喚起する場所に用います。

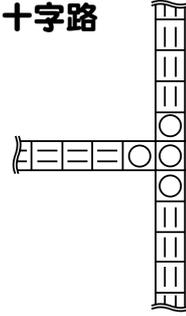


#### 線状ブロック

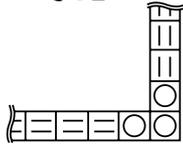
ある方向へと誘導する場所に用います。

### ● 視覚障害者誘導用ブロックの一般的敷設方法

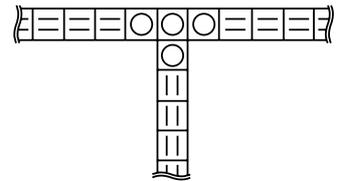
#### 十字路



#### L字路



#### T字路



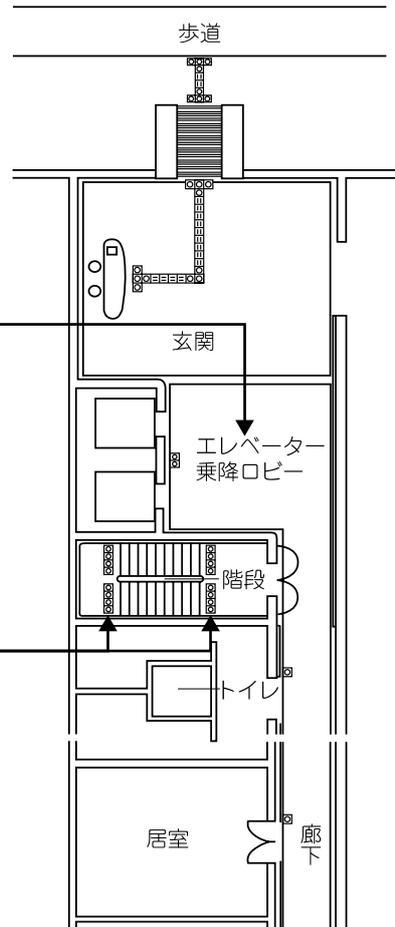
### ● 点状ブロックの位置

#### エレベーター乗降ロビー

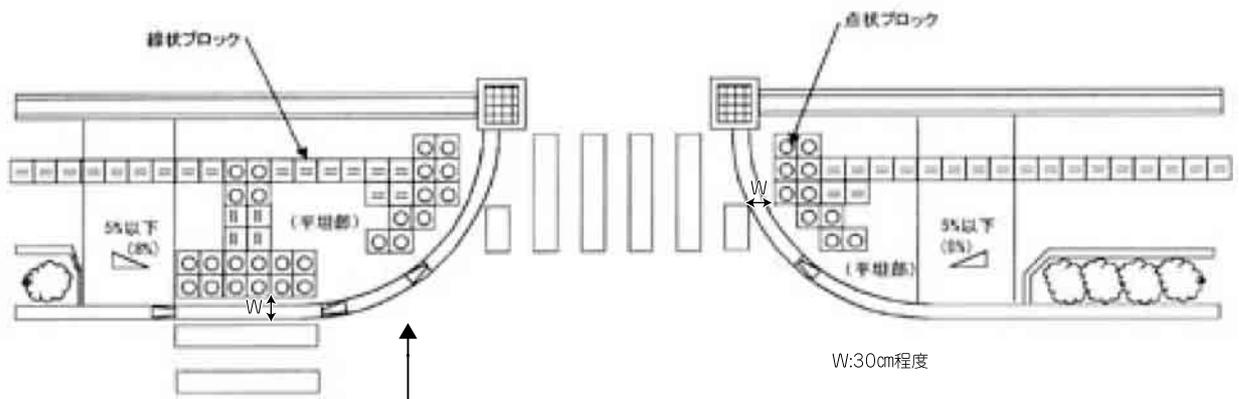
・ 操作ボタンから30cm程度離して敷設

#### 階段・スロープ

・ 境界から30cm程度離して敷設



※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。



### ①形状、寸法

JIS 規格に準じる

### ②材料

十分な強度を有し、歩行性、耐久性、耐摩耗性に優れたものとする

### ③色彩

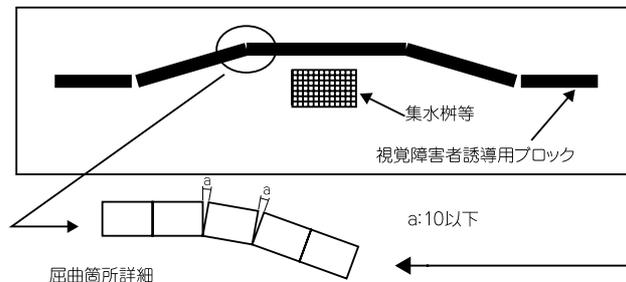
原則として視認性の高い黄色とし、輝度比は設置箇所における実測値とし、1.5～2.5を確保(晴天時)

**できれば!**

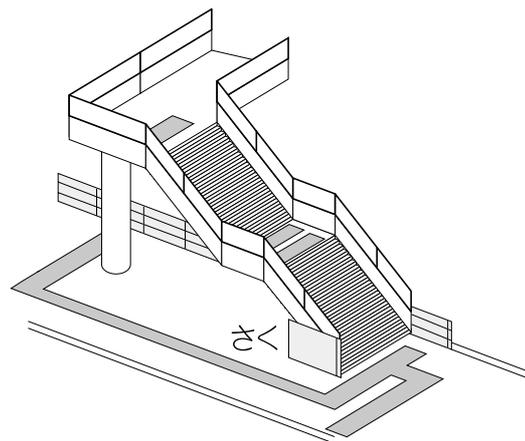
輝度比2.0以上

### ④設置方法

- 視覚障害者誘導用ブロックは、原則として現場加工しないで正方形のまま設置する
- やむを得ず誘導経路上で迂回させる場合、極端な折点やクランクとせず、なめらかに迂回させること



横断歩道橋に設置する場合



出典：視覚障害者誘導用ブロック設置指針・同解説

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

## ●点字の表現方法(エレベーター)

名称	点字	名称	点字
階床数	数字	戸閉	シメ
地下階	チカ	昇り	ウエ
地下1階	チカ1	降り	シタ
屋上階	オク	非常呼	ヒジヨー
戸開	アケ		

## ●点字の読み方一覧(凸面)

(五十音)				(濁音)					
ア	イ	ウ	エ	オ	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
カ	キ	ク	ケ	コ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
サ	シ	ス	セ	ソ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
タ	チ	ツ	テ	ト	バ	ビ	ブ	ベ	ボ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	パ	ピ	プ	ペ	ポ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
マ	ミ	ム	メ	モ					
ヤ		ユ		ヨ					
ラ	リ	ル	レ	ロ					
ワ		ヲ		ン					

(記号)				(拗音)		
長音	促音	句点	ツナギ	キャ	キュ	キョ
				シャ	シュ	ショ
				チャ	チュ	チョ
				ニャ	ニュ	ニョ
				ヒャ	ヒュ	ヒョ
				ギャ	ギュ	ギョ
				ジャ	ジュ	ジョ
				ピャ	ピュ	ピョ
				ミャ	ミュ	ミョ
				リャ	リュ	リョ
				ピャ	ピュ	ピョ

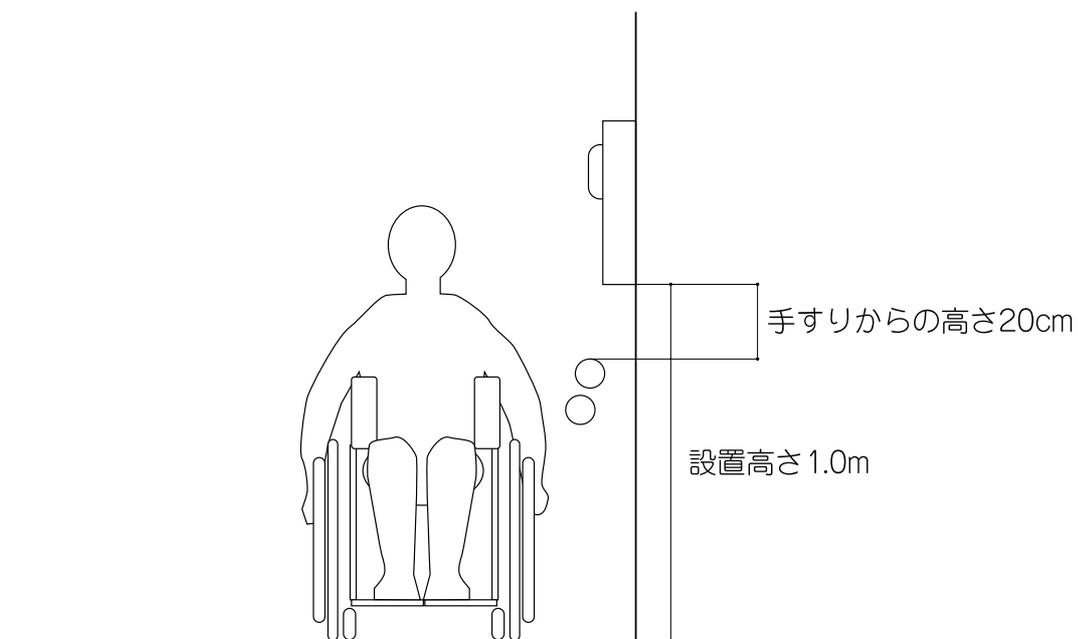
(アルファベット)									
外字符	A	B	C	D	E	F	G	H	
I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
S	T	U	V	W	X	Y	Z	外国語引用符	

(数字)										
数符	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

### 3 非常時の情報設備



非常警報装置の設置位置の一例



非常警報装置の一例

※赤字については、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則」に規定する基準の一部を示しています。

## 申請窓口

特定生活関連施設(徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例施行規則で規定されています)の新築など、または施設の用途変更を行う方は、その計画について、県(徳島市にある施設については徳島市)に事前協議が必要です。

また、工事が完了した時は、県(徳島市にある施設については徳島市)に工事完了の届出が必要になります。

### ◇事前協議及び工事完了の届出が必要な場合

特定生活関連施設の**新築、新設、増築、改築、大規模の修繕**(建築基準法第2条第14号に規定する大規模修繕)、**大規模の模様替**(建築基準法第2条第15号に規定する大規模の模様替)、**施設の用途の変更**(施設の用途を変更して特定生活関連施設とするものに限る)

### ◇事前協議及び工事完了の届出の手続きについて

① 特定生活関連施設の新築などを計画



② 事前協議書の提出

※建築確認申請と同時に事前協議書(2通)を提出してください



③ 審査



④ 指導及び助言

※整備基準に適合しない場合に、事前協議者へ行きます



⑤ 工事完了届出書の提出

※工事完了検査申請と同時に工事完了届出書(1通)を提出してください



⑥ 特定生活関連施設(建築物)の完了検査(現地確認)

※整備基準の適合状況を検査します

### ◇申請窓口

特定生活関連施設の設置場所	提出先	審査・検査部署
徳島市	徳島市都市デザイン室	徳島市都市デザイン室
鳴門市、松茂町、板野町	東部県土整備局鳴門庁舎	県建築開発指導課
小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、神山町、北島町、藍住町	東部県土整備局徳島庁舎	
吉野川市、阿波市、石井町、上板町	東部県土整備局吉野川庁舎	
阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町	南部総合県民局県土整備部阿南庁舎	
美馬市、つるぎ町	西部総合県民局県土整備部美馬庁舎	
三好市、東みよし町	西部総合県民局県土整備部三好庁舎	